２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物形態機能学				
担当教員	青木　和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	8	時間数	128
授業概要、目的、授業の進め方	動物の生命維持の仕組みを形態学・機能学・生化学の面から学び生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各段階で理解するとともに病的変化について学ぶ基礎を確立する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	動物の体の構造と機能を理解することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物形態機能学概論 形態学（解剖学）とはなにか	テキスト、パワポの資料にて
2	動物形態機能学概論 形態学（解剖学）とはなにか	テキスト、パワポの資料にて
3	生物学の復習 細胞とは、組織とは	テキスト、パワポの資料にて
4	生物学の復習 細胞とは、組織とは	テキスト、パワポの資料にて
5	生物学の復習 組織とは	テキスト、パワポの資料にて
6	生物学の復習 組織とは	テキスト、パワポの資料にて
7	動物の体の機能 生命の維持システム	テキスト、パワポの資料にて
8	動物の体の機能 生命の維持システム	テキスト、パワポの資料にて
9	動物の体の基本構造 細胞とは、組織とは	テキスト、パワポの資料にて
10	動物の体の基本構造 細胞とは、組織とは	テキスト、パワポの資料にて
11	筋骨格筋 骨の基本構造	テキスト、パワポの資料にて
12	筋骨格筋 骨の基本構造	テキスト、パワポの資料にて
13	消化器系 消化器の成り立ちと構造、はたらき	テキスト、パワポの資料にて
14	消化器系 消化器の成り立ちと構造、はたらき	テキスト、パワポの資料にて
15	消化器系 小腸、膵臓、肝臓、大腸の構造と機能	
16	消化器系 小腸、膵臓、肝臓、大腸の構造と機能	
17	循環器系 心臓の構造とはたらき	テキスト、パワポの資料にて
18	循環器系 心臓の構造とはたらき	テキスト、パワポの資料にて
19	呼吸器系 呼吸器系の成り立ちと構造、はたらき	テキスト、パワポの資料にて
20	呼吸器系 呼吸器系の成り立ちと構造、はたらき	テキスト、パワポの資料にて
21	呼吸器系 ガス交換、外呼吸と内呼吸	テキスト、パワポの資料にて
22	呼吸器系 ガス交換、外呼吸と内呼吸	テキスト、パワポの資料にて
23	泌尿器系 泌尿器系の成り立ちと構造	テキスト、パワポの資料にて
24	泌尿器系 泌尿器系の成り立ちと構造	テキスト、パワポの資料にて
25	泌尿器系 腎臓の構造とはたらき	テキスト、パワポの資料にて
26	泌尿器系 腎臓の構造とはたらき	テキスト、パワポの資料にて
27	生殖器系 オスの生殖器、雌の生殖器	テキスト、パワポの資料にて
28	生殖器系 オスの生殖器、雌の生殖器	テキスト、パワポの資料にて
29	復習・まとめ	
30	期末試験	
31	期末試験の振り返り	
32	総まとめ	
33	内分泌系 内分泌機能と作用	テキスト、パワポの資料にて
34	内分泌系 内分泌機能と作用	テキスト、パワポの資料にて
35	内分泌系 代表的なホルモンとはたらき	テキスト、パワポの資料にて
36	内分泌系 代表的なホルモンとはたらき	テキスト、パワポの資料にて
37	神経系 神経系の成り立ちと構造、中枢神経系と末梢神経系の構成と機能	テキスト、パワポの資料にて
38	神経系 神経系の成り立ちと構造、中枢神経系と末梢神経系の構成と機能	テキスト、パワポの資料にて
39	神経系 自立神経系、交感神経、副交感神経	テキスト、パワポの資料にて
40	神経系 自立神経系、交感神経、副交感神経	テキスト、パワポの資料にて
41	感覚器系 眼の構造と機能	テキスト、パワポの資料にて
42	感覚器系 眼の構造と機能	テキスト、パワポの資料にて
43	感覚器系 耳の構造と機能	テキスト、パワポの資料にて
44	感覚器系 耳の構造と機能	テキスト、パワポの資料にて
45	外皮系 皮膚の構造	テキスト、パワポの資料にて
46	外皮系 皮膚の構造	テキスト、パワポの資料にて
47	外皮系 皮膚の付属器	テキスト、パワポの資料にて
48	外皮系 皮膚の付属器	テキスト、パワポの資料にて
49	血液 血液の成分とはたらき、血液の種類	テキスト、パワポの資料にて
50	血液 血液の成分とはたらき、血液の種類	テキスト、パワポの資料にて
51	血液 血液凝固	テキスト、パワポの資料にて
52	血液 血液凝固	テキスト、パワポの資料にて
53	免疫系 免疫細胞と液性因子	テキスト、パワポの資料にて
54	免疫系 免疫細胞と液性因子	テキスト、パワポの資料にて
55	免疫系 免疫の分類、リンパ系器官、アレルギーについて	テキスト、パワポの資料にて
56	免疫系 免疫の分類、リンパ系器官、アレルギーについて	テキスト、パワポの資料にて
57	代謝 代謝とは	テキスト、パワポの資料にて
58	代謝 代謝とは	テキスト、パワポの資料にて
59	代謝 栄養素の代謝	テキスト、パワポの資料にて
60	代謝 栄養素の代謝	テキスト、パワポの資料にて
61	復習・まとめ	
62	期末試験	
63	期末試験の振り返り	
64	総まとめ	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物看護を前提として動物種による体の構造の違い、疾患の基礎を理解するために知識として実際の疾患と関連付けて理解を深める。

実務経験教員の経歴	動物看護師として現在も勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物感染症学Ⅰ				
担当教員	山下　静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	微生物の分類や生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、感染症対策の基礎を修得する。 感染防御に関わる免疫学の基礎についても学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	疾病の成り立ちと回復の促進に寄与することを学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業概要、感染症を学ぶ意義	狂犬病のDVD鑑賞※レポート提出
2	感染について 感染とは／感染症の経過／種類／感染経路	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
3	感染症の予防 感染が成り立つには／感染を成立させないためには	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
4	消毒と滅菌 消毒と滅菌の定義	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
5	消毒と滅菌 消毒、滅菌の方法と使い分け	テキスト朗読、板書　　※小テストを実施
6	微生物学 微生物とは／病原微生物とは／細菌について	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
7	微生物学 細菌について／真菌について	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
8	微生物学 ウイルスについて	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
9	微生物学 犬・猫の主な細菌感染症	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
10	微生物学 犬・猫の主な細菌感染症	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
11	微生物学 犬・猫の主な真菌感染症	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
12	微生物学 犬・猫の主な真菌感染症	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
13	微生物学 犬・猫の主なウイルス感染症	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
14	微生物学 犬・猫の主なウイルス感染症	テキスト朗読、板書　　※小テストを実施
15	期末試験	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
16	期末試験の振り返り	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
17	微生物学 犬・猫以外の動物の代表的な感染症	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
18	微生物学 犬・猫以外の動物の代表的な感染症	テキスト朗読、板書　　※小テストを実施
19	免疫学 免疫とは／自然免疫と獲得免疫	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
20	免疫学 抗体とは／アレルギー	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
21	免疫学 ワクチンとは／ワクチンの必要性／生ワクチン・不活化ワクチン	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
22	免疫学 ワクチネーションとは／ワクチネーションに影響する因子	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
23	免疫学 コアワクチンとは／ノンコアワクチンとは	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
24	免疫学 犬のワクチンについて	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
25	免疫学 猫のワクチンについて	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
26	免疫学 ワクチネーションプログラム〔犬〕	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
27	免疫学 ワクチネーションプログラム〔猫〕	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
28	免疫学 ワクチンの副作用	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
29	免疫学 ワクチン[飼い主シミュレーション]	テキスト朗読、板書、必要に応じて資料プリント配布
30	免疫学 まとめ	テキスト朗読、板書　　※小テストを実施
31	期末試験	
32	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	履修範囲が広く多岐に及ぶため、定期的に小テストを実施し復習をする。また、その点数により学生個々の修得レベルを把握し必要に応じて再テストや再提出を行う。また、なるべく多くの学生より朗読をさせて、全員に意識づけを行う。 感染症のリスクやワクチンについてなどは、飼い主に説明ができるレベルを目指す。一般の飼い主が理解しやすいように、まずは学生個々がきちんと正しい知識を習得しなくてはならない。

実務経験教員の経歴	動物看護師として約4年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物看護学概論				
担当教員	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	獣医療の歴史や動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人と動物の調和に関わることを学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	歴史上にみる獣医療の歴史	パワーポイント資料
2	日本国内の獣医療の歴史	パワーポイント資料
3	日本国内の動物看護の軌跡	パワーポイント資料
4	資格化に向けての動きと軌跡	パワーポイント資料
5	愛玩動物看護師の職域と現状	パワーポイント資料
6	欧米の動物看護師の職域との相違	パワーポイント資料
7	動物看護の概念	パワーポイント資料
8	動物看護の本質	パワーポイント資料
9	職務範囲について	パワーポイント資料
10	動物看護の対象	パワーポイント資料
11	チーム獣医療における動物看護師と獣医師の担当職域の違い	パワーポイント資料
12	動物看護師と獣医師の視点の違い	パワーポイント資料
13	チーム医療として必要となる言葉	パワーポイント資料
14	獣医師と違った視点での支援	パワーポイント資料
15	筆記試験	
16	フィードバック	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物看護師の職業としての現状を把握し、自身の求める動物看護師像の元を作る。

実務経験教員の経歴	動物看護師として約9年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物医療関連法規				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	獣医療現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。また、2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護者の倫理要項2009」と「動物看護者の業務指針」（2012）についても学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物関連法令を学ぶ意義、日本の法令体系	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
2	愛玩動物看護師法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
3	獣医師法、獣医療法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
4	獣医療法、家畜伝染病予防法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
5	感染症法、狂犬病予防法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
6	薬機法、麻薬取締法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
7	振返りテスト	これまでの学習の振返りテスト実施
8	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	人と動物の関係学				
担当教員	青木　和孝		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会学的側面から理解する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	人と動物の調和に関わることを学ぶことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	人と動物の関係の歴史	パワポ資料
2	人と動物の関係のなりたち	パワポ資料
3	人と動物の絆について	パワポ資料
4	動物が人に及ぼす影響について	パワポ資料
5	動物介在活動（AAA）の定義	パワポ資料
6	動物介在療法（AAA）の事例紹介	パワポ資料
7	動物介在療法（AAT）の定義	パワポ資料
8	動物介在療法（AAT）の事例紹介	パワポ資料
9	動物介在教育（AAE）の定義	パワポ資料
10	動物介在教育（AAE）の事例紹介	パワポ資料
11	さまざまな人と動物の関係 子どもと動物の関係	パワポ資料
12	さまざまな人と動物の関係 高齢者と動物の関係	パワポ資料
13	さまざまな人と動物の関係 使役動物と人の絆	パワポ資料
14	訪問活動に向けて	パワポ資料
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	科学的なエビデンスに基づいた人と動物の相互関係の理解。動物福祉を考慮した参加動物の選別とトレーニング法の選択を理解する。

実務経験教員の経歴	動物看護師として現在も勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	生命倫理・動物福祉				
担当教員	山﨑　恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何なのか？を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物の代弁者になることについて	
2	真の動物愛護とは	
3	ブリーディングの問題	
4	飼い主の責任	
5	動物の死とペットロス	
6	シェルターワーク	
7	動物虐待	
8	災害時の動物	
9	犬のデイケア	
10	犬猫の行動学	
11	Tタッチ理論	
12	Tタッチ実践	特別講義
13	動物愛護教育	
14	動物保護活動	
15	期末試験	
16	エコ・ツーリズム	
17	動物愛護法	
18	アニマル・エシックス（実験動物・産業動物）	
19	アニマル・エシックス（展示動物）	
20	アニマル・エシックス（補助犬）	
21	安楽死とペットロス	特別講義
22	動物愛護法と動物の福祉	特別講義
23	期末試験	
24	動物との共生	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。

実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー総研

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物行動学				
担当教員	中野　貴行		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	犬や猫の行動様式の特徴を様々な視点から学び、犬や猫の本質などを理解させる。テキストとパワーポイントを使用しながら授業を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	人と動物の調和に関わることを学び、それを元に犬や猫の行動についてアドバイスできるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物行動学の概論、歴史	
2	犬と猫の歴史と家畜化について	
3	行動の動機付け、神経伝達物質	
4	行動の発達について（新生子期～高齢期）	
5	犬と猫のコミュニケーションについて	
6	犬と猫の社会行動について（性行動も含む）	
7	維持行動について	
8	学習理論について（生得的行動、習得的行動）	
9	学習理論について（馴化、洪水法、消去、消去バースト、脱感作など）	
10	学習理論について（古典的条件付け、オペラント条件付け）	
11	学習理論について（オペラント条件付け）	
12	行動問題のアプローチについて 定義、要因	
13	行動問題のアプローチについて 主な問題行動、修正と予防	
14	犬具について	
15	期末試験実施	
16	期末試験の解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	専門学校教員として13年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物医療関連法規				
担当教員	竹石　拓矢		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	獣医療現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。また、2009年に日本動物看護職協会が公表した「動物看護者の倫理要項2009」と「動物看護者の業務指針」（2012）についても学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物取扱業者、動物取扱業者の責務	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
2	虐待と罰則、特定動物、愛護管理法の普及啓発	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
3	動物愛護推進員と犬猫の収容、周辺の生活環境の保全	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
4	身体障害者補助犬法、ペットフード安全法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
5	鳥獣保護法、ペット業界の現状とこれからの課題	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
6	産業廃棄物処理法、外来生物法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み
7	振返りテスト	これまでの学習の振返りテスト実施
8	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。

実務経験教員の経歴	ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	愛玩動物学				
担当教員	広川　美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	伴侶動物の歴史や品種、飼育管理方法及びエキゾチックアニマルの生態について学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	様々な動物の特性と人との関わりを理解し、飼い主にアドバイスができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	愛玩動物飼養管理士の社会活動	
2	動物愛護論１	
3	動物愛護論２	
4	人と動物の関係学	
5	動物関係法令１	
6	動物関係法令２	
7	動物関係法令３	
8	動物関係法令４	
9	動物関係法令５	
10	動物関係法令６	
11	その他、関係法令+復習小テスト	
12	テスト+解説	
13	動物のからだの仕組みと働き①	
14	動物のからだの仕組みと働き②	
15	動物の飼養管理	
16	犬、猫の飼養管理、品種や役割	
17	犬、猫の飼養管理、しつけ、日常の管理	
18	ウサギ　日常の管理	
19	ウサギ　飼養管理	
20	フェレット　日常の管理	
21	フェレット　飼養管理	
22	ハムスター　日常の管理	
23	ハムスター　飼養管理	
24	モルモット　日常の管理	
25	モルモット　飼養管理	
26	チンチラ　日常の管理、飼養管理	
27	その他哺乳類の飼養管理	
28	鳥類の飼養管理１	
29	鳥類の飼養管理２	
30	爬虫類	
31	復習小テスト	
32	テスト+解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年

科目名	動物内科看護学Ⅰ				
担当教員	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	獣医療を受けるさいに必要な検査や補助業務の内容を理解し、知識を身につける。 人と犬にとって安全であり、犬が安心していられる接触のしかたを知る。犬の健全な管理と飼育を遂行する重要性を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	診療補助に必要な技術　動物看護師の役割 一般的な管理、運動の管理、排泄の管理、病気の早期発見のための管理	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
2	診察の準備、衛生管理 動物看護師が行う動物病院での診察補助、	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
3	保定法（犬、猫）	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
4	保定法（エキゾチックアニマル）	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
5	バイタルチェックと体重測定、定期的な健康診断 犬と猫の健康とはなにか	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
6	注射器及び管理方法 注射針、シリンジ等の取り扱いと基礎知識	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
7	採血の方法	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
8	採尿の方法	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
9	薬の処方について 薬の取り扱いと基礎知識	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
10	内服薬の使用法、薬剤の注射法、外用薬の使用法	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
11	食事の管理、投与方法	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
12	輸液に関わる技術 輸液管理、輸液ルート	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
13	輸血に関わる技術 輸血の基礎知識	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
14	被毛や皮膚の管理（ブラッシング、シャンプー、歯磨きなど）	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
15	臨床検査の種類	動物看護師が関わる臨床検査の種類（検体検査、生体検査）にはどのようなものがあるのか、を知る。
16	主要な検査機器	検体検査・生体検査に使用する主要な検査機器について知る
17	心電図検査 概論	心電図検査の意義と基礎的知識について学ぶ
18	レントゲン検査 概論	レントゲン検査の意義と基礎的知識について学ぶ
19	放射線学	放射線の性質や防護、生体への影響について
20	レントゲン検査の保定	レントゲン検査の保定方法
21	CT・MRI検査 概論	ＣＴ・ＭＲＩ検査の意義と基礎的知識について学ぶ
22	超音波検査 概論	超音波検査の意義と基礎的知識について学ぶ
23	超音波検査の保定	超音波検査の保定方法
24	内視鏡検査 概論	内視鏡検査の意義と基礎的知識について学ぶ
25	神経学的検査 概論	神経学的検査の意義と基礎的知識について学ぶ
26	眼科検査　概論	眼の解剖・生理学と臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ
27	眼科検査 手技	眼科検査の項目と実際の手技を身につける
28	耳の検査 概論	耳の解剖・生理学と臨床検査の関連性。耳の検査が必要な生体の状態について学ぶ
29	耳の検査 手技	耳介・外耳道・内耳道検査の種類と手技について学ぶ
30	皮膚科検査 概論	皮膚・被毛の構造と臨床検査の関連性。動物看護師の役割について。皮膚検査が必要な生体の状態について学ぶ
31	皮膚科検査 手技	皮膚科検査の種類と実際の手技について学ぶ
32	授業振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	実習で実践できるように、座学で知識を身に付ける。

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として９年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物外科看護学Ⅰ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を習得する 動物の術前管理、手術室管理、滅菌消毒法、術前準備、麻酔法、手術器具、術中管理、術後管理、包帯法、救急救命法、理学療法 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	動物の臨床看護に必要な知識を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	外科診療時の補助に必要な技術	医療ドラマの鑑賞
2	無菌操作の重要性	清潔と不潔とはを例を交えて
3	手術前の動物に必要な情報、アセスメント、飼い主に必要な指示	手術を安全に行うための書類の交わし方
4	手術室の環境管理	衛生管理の徹底
5	滅菌と消毒	他授業の内容に合わせる
6	手術施設、設備の準備と管理 衛生的管理と清掃	精密機器のメンテナンスについて
7	手術施設、設備の準備と管理 機器の管理と消耗品の管理とストックの重要性	在庫管理を行う
8	術者に必要な準備 手洗いの技術	動画を交えて習得
9	術者に必要な準備 キャップ、マスク、ガウンの着脱と解除	必要性への理解
10	術者に必要な準備 グローブの装着	２タイプを習得
11	手術チームの準備 無菌、滅菌、消毒の知識	意識改善
12	手術器具の準備と基礎知識① 器具の名称と役割を知る	スケッチ
13	手術器具の準備と基礎知識② 適材適所の用途	スケッチ
14	消耗品管理の重要性 使用後使用前のチェック	管理チェック表を用いる
15	期末試験	後期の実習に向けて総復習
16	フィードバック	修得状況の確認

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	この科目で学んだことをしっかりと認識して実習に臨むこと。知識が不足している場合は怪我や破損につながる恐れがある。積極的に復習に取り組み、時間が経ったから忘れたということがないように取り組む。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物栄養学Ⅰ				
担当教員	稲川　祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物栄養学総論	テキスト、資料を使用
2	基礎栄養学	小テストの実施、テキスト、資料を使用
3	基礎栄養素 水、タンパク質①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
4	基礎栄養素 タンパク質②	小テストの実施、テキスト、資料を使用
5	基礎栄養素 炭水化物、脂肪	小テストの実施、テキスト、資料を使用
6	基礎栄養素 ミネラル、ビタミン	小テストの実施、テキスト、資料を使用
7	イヌとネコの栄養要求の違い①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
8	イヌとネコの栄養要求の違い② ライフステージ別の栄養管理①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
9	ライフステージ別の栄養管理②	小テストの実施、テキスト、資料を使用
10	ライフステージ別の栄養管理③	小テストの実施、テキスト、資料を使用
11	ライフステージ別の栄養管理④	小テストの実施、テキスト、資料を使用
12	ライフステージ別の栄養管理⑤ ペットフードの表示の見方①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
13	ペットフードの表示の見方② BCS評価とカロリー計算の仕方①	小テストの実施、テキスト、資料を使用
14	BCS評価とカロリー計算の仕方②	小テストの実施、テキスト、資料を使用
15	ペットフードの種類	小テストの実施、テキスト、資料を使用
16	まとめ	まとめ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。

実務経験教員の経歴	動物病院5年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床検査学				
担当教員	佐藤　緑		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物臨床検査学実習にて習得する、実際の手技に反映できる技術を備えるようにする。検体検査においては、尿検査・糞便検査・血液検査その他細胞診検査・微生物学的検査の目的・方法・検体の扱い方・正常値・異常値を理解す。特殊検査の目的・方法・検査機器の正しい扱い方・正常値・異常値を学習する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物臨床検査学概論	臨床検査の目的と動物看護師の役割を理解する
2	臨床検査の種類	動物看護師が関わる臨床検査の種類（検体検査、生体検査）にはどのようなものがあるのか、を知る。
3	主要な検査機器	検体検査・生体検査に使用する主要な検査機器について知る
6	血液検査 概論　採血法・取り扱い・検査項目	循環器系のはたらきと臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ
7	血液検査 CBC・生化学・血液塗抹標本の作成	全血球計算法（CBC）・生化学検査について学ぶ 血液塗抹標本の作製・染色法・観察法について学ぶ
8	尿検査　概論	泌尿器系の働きと臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ
9	尿検査 採尿法・取り扱い・検査項目、手技・評価	採尿方法とその取り扱い、尿検査項目、物理的・化学的性状検査・尿沈渣の手技・結果・所見について学ぶ
10	糞便検査 概論	消化器系のはたらきと臨床検査の関連性。動物看護師の役割について学ぶ
11	糞便検査 採便法・取り扱い・検査項目、手技・評価	採便方法とその取り扱い、糞便検査項目について学ぶ 直接塗抹法・浮遊法・遠心沈殿法の手技・結果・所見につ
12	細胞診検査 概論	細胞診検査の意義と基礎的知識について学ぶ
13	微生物学関検査 概論	微生物学的検査の意義と基礎的知識について学ぶ
14	遺伝子検査 概論	遺伝子検査の意義と基礎的知識について学ぶ
15	筆記試験	
16	フィードバック	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物臨床検査学実習で実際の手技ができるように知識を身に付ける

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物内科看護学実習Ⅰ				
担当教員	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	犬や猫の日常的な健康管理や内科療法の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	獣医療を受けるさいに必要な検査や補助業務の内容を理解し、実践できる。 人と犬にとって安全であり、犬が安心していられる接触のしかたを知る。犬の健全な管理と飼育を遂行する重要性を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	実習に参加する動物の健康状態の観察と把握 運動の管理、排泄の管理、病気の早期発見のための管理	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
2	実習に参加する動物の健康状態の観察と把握 運動の管理、排泄の管理、病気の早期発見のための管理	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
3	実習に参加する動物の飼育環境の確認と整備、一般的な管理状態の確認（食事と水、寝る場所など）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
4	実習に参加する動物の飼育環境の確認と整備、一般的な管理状態の確認（食事と水、寝る場所など）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
5	保定法（犬、猫）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
6	保定法（犬、猫）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
7	保定法（エキゾチックアニマル）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
8	保定法（エキゾチックアニマル）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
9	バイタルチェックと体重測定、定期的な健康診断	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
10	バイタルチェックと体重測定、定期的な健康診断	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
11	注射器及び管理方法 注射針、シリンジ等の取り扱い、留置針設置	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
12	注射器及び管理方法 注射針、シリンジ等の取り扱い、留置針設置	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
13	採血の方法	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
14	採血の方法	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
15	総復習	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
16	期末試験	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
17	採尿の方法	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
18	採尿の方法	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
19	薬の処方について 薬の取り扱いと基礎知識	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
20	薬の処方について 薬の取り扱いと基礎知識	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
21	内服薬の使用法、薬剤の注射法、外用薬の使用法	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
22	内服薬の使用法、薬剤の注射法、外用薬の使用法	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
23	食事の管理と関わり 人工的な給仕、症状に合った調理	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
24	食事の管理と関わり 人工的な給仕、症状に合った調理	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
25	輸液に関わる技術 輸液管理の基礎知識、輸液の目的、総輸液量を確認する必要性と計算、輸液ルート	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
26	輸液に関わる技術 輸液管理の基礎知識、輸液の目的、総輸液量を確認する必要性と計算、輸液ルート	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
27	輸血に関わる技術 輸血の基礎知識	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
28	輸血に関わる技術 輸血の基礎知識	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
29	被毛や皮膚の管理の実践 （ブラッシング、シャンプー、歯磨きなど）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
30	被毛や皮膚の管理の実践 （ブラッシング、シャンプー、歯磨きなど）	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
31	総復習	座学で学んだ内容を実習にて実践 動物看護実習テキスト
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床検査学実習Ⅰ				
担当教員	佐藤　緑		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	検体検査および生体検査に必要な手技や機器の扱い方など、動物臨床検査学で学んだ知識の実践力を習得する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	動物臨床検査学で修得した知識の実践力を身に付ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	検査の種類と目的	パワーポイント資料
2	身体一般検査	学校飼育動物（犬、猫）での実習
3	血液検査①：CBC検査の手技の確認、採血の補助	動物看護実習テキスト
4	血液検査②：血液塗抹標本の作製と染色	実習（塗抹作成と染色）
5	血液検査③：ヘマトクリット管の使用方法	実習（ヘマトクリット管と遠心分離機）
6	血液検査④：自動血球計算機による検査	実習（自動血球計算機）
7	血液検査⑦：網状赤血球とニューメチレンブルー染色	実習（赤血球の染色と鏡検）
8	血液検査⑧：白血球分画	実習（血液塗抹の観察）
9	血液検査⑩：生化学検査、血液生化学検査機器の確認	実習（血液生化学検査）
10	血液検査⑫：凝固系検査、輸血時のクロスマッチ検査	動物看護実習テキスト 実習（マイクロピペットの使用法）
11	尿検査①：採尿法と必要な機材の準備、検体の取り扱いと保存	実習（採尿）
12	尿検査③：一般検査、尿検査試験紙、科学的検査、尿沈渣	実習（尿検査）
13	糞便検査①：糞便の一般性状、採便法と保存法と取り扱い	実習（採便）
14	糞便検査②：顕微鏡検査	実習（便検査）
15	細胞診	実習（標本作成手順と固定、染色）
16	筆記試験	器具の準備や検査手技の確認

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物臨床検査学（座学）の知識をもとに実習を行う。

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物外科看護学実習Ⅰ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	周術期の術前・術中・術後において、動物看護師の役割である外科手術を補助するために必要な外科看護技術を修得する。看護動物が安全に麻酔（手術）を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また、麻酔（手術）が円滑に行われるためには、日頃からの手術器具、機材の管理が必要となり、術中の補助では麻酔下の看護動物がどの様な状態にあるのかを考え、麻酔モニターを使用し管理を行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	正常と異常の状態を理解し、異常が見つかった場合は速やかに獣医師に報告し、獣医師の指示に基づき行動がとれるようにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	手術補助 外科実習の流れ、周術期看護とは何か	周術期のうち手術中に関する項目を学ぶ
2	器具機材の準備 手術器具、縫合、ドレープ、電気メス、器具の滅菌と管理	手術中に用いる器具の理解を深める
3	麻酔前評価、術前の準備 麻酔前に動物を評価する目的とは	実際に行われる手術の内容をイメージできるようにする
4	術者の準備 日常～当日、手洗い、ガウン、グローブ	身体検査、血液検査、Ｘ線検査などを行い、動物の総合評価を行う。
5	動物の準備 毛刈り、消毒、ドレーピング	イヌ・ネコの避妊・去勢手術を想定して、衛生的に手術を行い、術中・術後の清潔が保てる
6	気道確保 準備、手順	気道確保に必要な備品の準備をし、手順を理解した上で、的確に処置者のサポートができる
7	麻酔とは 麻酔の定義、麻酔状態について	麻酔の定義を知り、麻酔とはどういったものなのか理解する
8	麻酔薬の作用 麻酔前投与薬、鎮痛薬	麻酔前投与薬、鎮痛薬を投与する意義を理解する
9	麻酔導入 麻酔導入方法の理解	手術の流れにおける患者管理の内容を理解する
10	麻酔器の構造と管理 麻酔器の仕組みの理解	一般的な麻酔器の構造を理解し、管理ができる
11	モニター機器の準備と管理 必要な備品の準備をし、正しく接続ができる	手術の流れにおける看護動物の管理に必要な設備・装置を理解する
12	動物のモニター 人間の五感を使った動物の評価方法	麻酔モニタリング装置を用いないモニタリング方法や用いるモニタリング方法について理解を深める
13	まとめ 外科看護技術の習得	今までに習ったことの総復習
14	実技試験	今までに習ったことの総復習
15	筆記試験	今までに習ったことの総復習
16	フィードバック	修得状況の確認

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物外科看護学で習得した内容の実践となる。刃物を扱うこともあるため、気を引き締め、まじめに取り組む。動物外科看護学Ⅱへの履修も視野に入れ、積極的な実習参加が臨まれる。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物看護総合実習Ⅰ				
担当教員	担任		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	修学した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされているのか動物病院で体験・実習する。動物病院の施設構造・機能を理解し看護が行われている場の環境を理解することで、獣医療現場での臨床経験から看護動物や飼い主への配慮を含むより実践的な看護と専門知識および倫理感を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	いままで修学した知識と技術、コミュニケーション能力を発揮し、先輩動物看護師に見習うことで、新人スタッフとしての心構えと社会人としての責任感を養い自身に不足している部分を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	発揮したい事項① 医療チームの一員として相応しい態度、学習者としての相応しい態度	
2	学びたい技術① 動物病院で必要な環境に関するアセスメント・整備技術	
3	学びたい技術② 動物病院で必要な食事に関するアセスメント・介助技術	
4	学びたい技術③ 排泄技術	
5	学びたい技術④ 動物病院で必要な活動・休息・援助に関するアセスメント・介助技術	
6	学びたい技術⑤ 動物病院で必要な身体の清潔に関するアセスメント・援助技術	
7	学びたい技術⑥ 動物病院で必要な身体の呼吸・循環に関するアセスメント・技術	
8	学びたい技術⑦ 動物病院で必要な創傷管理に関するアセスメント・技術	
9	学びたい技術⑧ 動物病院で必要な投薬に関するアセスメント・技術	
10	学びたい技術⑨ 動物病院で必要な生体機能管理に関するアセスメント・技術	
11	学びたい技術⑩ 動物病院で必要な感染予防に関するアセスメント・技術	
12	学びたい技術⑪ 動物病院で必要な安全管理に関するアセスメント・技術	
13	学びたい技術⑫ 動物病院で必要なコミュニケーションに関するアセスメント・技術	
14	学びたい技術⑬ 動物病院で必要な周術期の看護に関するアセスメント・技術	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物病院での臨床実習

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物愛護・適正飼養実習ＩＢ				
担当教員	広川　美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミングの目的・効果及び、動物看護におけるグルーミングの重要性について学ぶ。 体表や被毛の部位・毛色など、グルーミングに際し必要な専門用語について学ぶ。 被毛や皮膚の管理の実践（ブラッシング、シャンプー） 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	適切なシャンプー剤の選択が出来、動物にストレスなくグルーミングが出来る。 また飼い主への日常のケアのアドバイスが出来る。 被毛や皮膚に疾患が疑われる場合は、速やかに獣医師に報告することが出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミング実習の目的、グルーミングの流れ、グルーミング道具の名前、使い方	
2	ウィッグを使ってのグルーミングデモ	
3	グルーミング実習（実践）　チワワ、ダックス等	犬種ごとのグルーミング方法を学ぶ
4	グルーミング実習（実践）　パグ、ポメラニアン等	
5	グルーミング実習（実践）　チワワ、ダックス等	
6	グルーミング実習（実践）　プードル、マルチーズ	
7	グルーミング実習（実践）　シュナウザー	
8	グルーミング実習（実践）　ヨークシャーテリア	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物愛護・適正飼養実習ＩＡ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	実習前座学：実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする 実習：座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。 掃除においてはインターンシップと基本となる項目。 動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	個体別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法	教員が見本となる、実習室への見学
2	消毒や手洗いの実施について、犬について（PD、テキスト）	理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い
3	猫について（PD、テキスト）、管理帳の記入の仕方について	管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い
4	小動物（ウサギ、モルモット、ハムスター）について	自作プリントを配布、小動物の触れ合い
5	飼育室の見学（物の配置確認）、掃除の仕方、洗濯方法	先輩に指導を受ける、メモをとる
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方	日誌を実際に書いてもらう
7	実習前の総確認、小テスト	実習に必要な技術を見直す
8	フィードバック	覚え直し
9	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
10	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
11	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
12	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
13	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ
14	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
15	期末試験（筆記）	正しい知識を覚えているか
16	フィードバック	間違えたままにせず、確認を行う
17	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
18	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
19	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
20	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
21	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ
22	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
23	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
24	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
25	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
26	（実習）ハムスターの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ハムスター）への接触方法、管理方法を学ぶ
27	（実習）犬の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（犬）への接触方法、管理方法を学ぶ
28	（実習）猫の管理、お世話、食事について	WaNファミリー（猫）への接触方法、管理方法を学ぶ
29	（実習）ウサギの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（ウサギ）への接触方法、管理方法を学ぶ
30	（実習）モルモットの管理、お世話、食事について	WaNファミリー（モルモット）への接触方法、管理方法を学ぶ
31	期末試験（筆記）	正しい知識を覚えているか
32	フィードバック	間違えたままにせず、確認を行う

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。苦手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。

実務経験教員の経歴	動物病院9年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅰ				
担当教員	担任		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。 身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年（翌々年）の就職活動を意識する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	就職活動の心構えと流れを知ることができる。 自分と職業を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	これからどう生きていくか、一生でどのくらい稼げるのか、どんな生活を送りたいか、社会はどんな人材を求めているのか	プリント
2	チャンスを逃がさない、働く理由を考える	プリント
3	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える	プリント
4	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる	プリント
5	BtoBとBtoCの違いを知る、業界について考える、職種について考える	プリント
6	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方	プリント
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①	個別作業
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②	個別作業
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③	個別作業
10	身だしなみセミナー、求職登録面接	女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける
11	インターンシップ履歴書作成の仕方	プリント
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方	プリント
13	履歴書作成、志望動機作成①	個別作業
14	履歴書作成、志望動機作成②	個別作業
15	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて	プリント
16	就職研修	インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コミュニケーション実践Ⅰ				
担当教員	担任		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く	P2-9
2	傾聴・質問する	P10 -14
3	目的を意識する、話を組み立てる	P15-22
4	言葉を選び抜く	P23-29
5	表現・伝達する	P30
6	来客応対	P36-39
7	電話応対	P40-43
8	アポイントメント・訪問・挨拶	P44-48
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション	P49-59
10	接客・営業、クレーム対応	P60-71
11	会議・取材・ヒアリング、面接	P72-82
12	模擬問題	P84-99
13	過去問題①	P100-115
14	過去問題②	P116-131
15	過去問題③	P132-148
16	コミュニケーション検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	コミュニケーション検定合格のために、毎回授業に出席する。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ビジネスマナー				
担当教員	小林　美江		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。 また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット　実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会　社会人常識マナー検定試験				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	仕事に取り組む心構え	P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック
2	報告・連絡・相談、会社の組織	P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング
3	基本動作、言葉の遣い方	P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック
4	受付の仕方、名刺の渡し方	P32-40 受付ロールプレイング
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方	P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備	P49-56 お茶出しロールプレイング
7	電話の受け方、伝言メモ	P55-69
8	電話のかけ方	P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング
9	慶事業務	プリント
10	弔辞業務、お見舞い	プリント
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い	プリント
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方	プリント iPad（スマホ）でメール作成送信添削
13	社外文書作成の仕方	プリント PC（iPad）で社外文書作成提出添削
14	お礼状の作成の仕方	プリント 直筆でお礼状作成提出添削
15	期末試験	
16	期末試験、解答・解説	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に応対できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	しつけトレーニング実習				
担当教員	金子　真弓		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実技を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。 対面授業で実施。				
学習目標 （到達目標）	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できる 犬と関わる上での必要な事や必要な物を理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	・犬の観察・しつけとは？、問題行動とは？飼い主にとって好ましくない行動⇒好ましい行動として肯定文として説明	
2	・リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、パピーの給餌について、所有欲について　・おもちゃで遊ぶことについて・リードの持ち方、近くでフード、近くを歩く、回す	テキスト使用
3	・飼い主の手を良いものに学習させる　・"ピーナッツバター療法"でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール×・トレーニング⇒回す、オスワリ、フセ（誘導で）	テキスト使用
4	・ケージ/クレートに関して・オスワリ、フセ、タテをそれぞれの姿勢から誘導（オスワリ⇔タテ、オスワリ⇔フセ、フセ⇔タテ）	実際の道具を見せる、トレーニングの方法をデモンストレーション
5	・犬を家族として迎え入れる前に準備するモノは？ ・名前を教える、アイコンタクト、近くを歩く	実際の道具を一部見せる
6	・犬を家族として迎える前に準備しておきたいコトについて（どんな犬？成犬or子犬orオスorメス、大種など）・実習：コングを作る（中に食べ物を詰める）、回す、横につける、アテンションなど	
7	・ストレスについて　3つのF"、カーミングシグナルについて ・実習：立ち方について（バランス良く立つ、犬側の肩に立ち犬側を向くこと）	テキスト使用
8	・犬の行動問題について：原因は？犬種の特性、身体の不快、先天的な要因、社会化不足などについて・実習：Tタッチ、立ち位置（犬の肩の辺りに立ち、犬側を少し向く）、リードの持ち方	
9	・学習理論：報酬はランダムにしていく、誘導から合図をつける⇒ハンドシグナル ・回す、オスワリ⇔フセをハンドシグナル、マッテ	
10	・トイレトレーニングについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マッテ、Tタッチ	DVD鑑賞
11	・合図を教えるトレーニングについて	
12	・嫌悪刺激を使ったトレーニング⇔ほめる（モチベーションを使った方法） ・自発的アイコンタクト、左右にご褒美を持った手を移動させてトレーニング	
13	セトルダウン：飼い主の足元で大人しく落ち着く（フセの状態で）、マグネットトレーニング：誘導とは異なり、全てのトレーニングの幹	足元でフセるトレーニングのデモンストレーション
14	・ボディランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し、近くを歩く（人がポール役になり、8の字で歩く）	DVD鑑賞
15	・古典的条件付け（拮抗条件付け、逆条件付け）、正の罰について罰とは？：嫌悪刺激 ・古典的条件付けでブラシ、手、ハンドタオルで触る刺激に慣らす	
16	・散歩の引っ張りについて（ジェントルリーダー、ハルティ、イージーウォークハーネスについて）	実際の道具を見せてデモンストレーション
17	・シェーピングについて（人だけでクリッカーの練習）	トランプを使用して、人同士で練習
18	・動画鑑賞：パピークラス、フリースタイルなど ・実習：クリッカートレーニング、犬がイスの上に前足を乗せる、イスの下に頭を入れる	モニターより動画観賞（実際の教室の様子など）
19	・Tool Box：健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、妥協、原因を取り除く、系統的脱感作、ご褒美を取り除く・ハンドシグナルのトレーニング（オスワリ、フセ、回す）	テキスト使用
20	・Tool Box：両立しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの改善、嫌悪刺激、Tool Boxを使って、問題を解決を考える（8組に分かれて）、実習：呼び戻し	テキスト使用
21	・シェーピング（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング：クリッカー配布	
22	・シェーピング②（クリッカートレーニング、基準が大きい場合は細かく分ける） ・人同士でクリッカートレーニング、犬でのシェーピングデモ：イスの下に頭を入れる	
23	・シェーピング③（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング	
24	・シェーピング④（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬にクリッカーでトレーニング（オスワリ、フセでクリックする）	
25	・シェーピング⑤（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング（イスの下に頭を入れる）	
26	・シェーピング⑥（クリッカートレーニング） ・人同士でクリッカートレーニング、犬のクリッカーでトレーニング（イスの下に頭を入れる続き）	
27	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（痛い）犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ　・行動に合図を付ける	
28	・犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い（痛い）犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ　・行動に合図を付ける	
29	・古典的条件付、拮抗条件付、脱感作について	
30	・オペラント条件付けについて	
31	・呼び戻しについて	
32	・トリーツをランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	しつけイントラクターとして約25年以上活動

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コンピュータ実習Ⅰ				
担当教員	古俣　秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	日本語文章入力をある程度の速さで、正確に行えるようにする Wordの理解を深め、活用できる基本技能を身につける 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	Word文書処理技能認定試験　３級　取得することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word2016 クイックマスター 基本編 Word文書処理技能認定試験 ３級問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1　Wordの基本	授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性
2	Chapter2　文字の入力と編集の基本操作 Chapter3　文書の編集	日本語入力の基本操作の確認 正確な入力の重要性、コピー・移動の状況に応じた方法
3	Chapter3　文書の編集	Wordにおける段落書式の重要性
4	Chapter3　文書の編集 Chapter4　文書の印刷	C2～3で学習した内容を該当設問で確認
5	Chapter5　文書の作成	タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認
6	Chapter6　表を使った文書の作成	表作成・編集の基本の理解、操作に応じたリボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認
7	Chapter7　図形や画像を使った文書の作成	オブジェクト作成・編集操作の基本の理解
8	練習問題１	QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる
9	練習問題２～	「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存と上書き保存の理解の重要性
10	練習問題	完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答
11	練習問題	〃
12	模擬問題	〃
13	模擬問題	〃
14	試験実施プログラム 模擬問題	プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点
15	試験実施プログラム サンプル問題	前問題振り返り　時間計測して実施　解答ファイル採点
16	検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、文書作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。

実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング理論				
担当教員	矢澤　千恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング実習を行う上でのグルーミングの目的、流れ、道具名、使用方法を学ぶ。 グルーミングを行う上での注意点を理解する。また、犬種についての知識も学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	犬種への理解を深め、犬種ごとに必要なグルーミング方法を選択できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー　ドッグ・グルーマーズ　プロフェッショナル・ワークブック インターズー　最新犬種図鑑				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミングの目的、トリマーの心構えについて	
2	シャンプー剤の知識、グルーミングの流れ・注意点①	
3	グルーミングの流れ・注意点②、道具の使い方	
4	スタンダードの理解、体表の生理	
5	犬種について　１G、２G、３G	各グループの中の代表犬種について学ぶ
6	犬種について　４G、５G、６G	
7	犬種について　７G、８G、９G、１０G	
8	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ショップトリマー4年、独立サロン4年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物繁殖学				
担当教員	佐藤　緑		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	繁殖は動物が存続する上で欠かせないものであり、雌雄がそれぞれ成長して生殖能力を有し受精により新たな個体（生命）が誕生する神秘的な営みである。本科目では主にイヌやネコの雌雄の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。の雌雄の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。さらに正常な分娩の前兆、生理的変化と異常分娩時における助産について学習する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	イヌやネコの雌雄の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　基礎動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	雌の生殖器の構造と機能 生殖器の構造・機能・生理を理解する	動物種による違い（イヌ・ネコ・ウシ・ウマ・ブタ・ウサギ・げっ歯目・サル・ヒトなど）を学ぶ
2	雄の生殖器の構造と機能 生殖器の構造・機能・生理を理解する	動物種による違い（イヌ・ネコ・ウシ・ウマ・ブタ・ウサギ・げっ歯目・サル・ヒトなど）を学ぶ
3	生殖活動に関連するホルモン	動物種による違い（イヌ・ネコ・ウシ・ウマ・ブタ・ウサギ・げっ歯目・サル・ヒトなど）を学ぶ
4	各ホルモンのフィードバック機構について学ぶ	動物種による違い（イヌ・ネコ・ウシ・ウマ・ブタ・ウサギ・げっ歯目・サル・ヒトなど）を学ぶ
5	性成熟と生殖周期について学ぶ	産褥期の母体看護、新生児の管理を理解し、飼い主へのアドバイスに役立てる
6	雌イヌの発情周期、排卵と交配について学ぶ	産褥期の母体看護、新生児の管理を理解し、飼い主へのアドバイスに役立てる
7	雌イヌの繁殖（妊娠、分娩、出産の看護、性ホルモン濃度の推移、助産および帝王切開、新生子の管理）	交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める
8	雌イヌの繁殖（妊娠、分娩、出産の看護、性ホルモン濃度の推移、助産および帝王切開、新生子の管理）	交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める
9	雌ネコの繁殖（発情周期、排卵と交配、性ホルモン濃度の推移、分娩、助産および帝王切開、新生子の管理）	交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める
10	雌ネコの繁殖（発情周期、排卵と交配、性ホルモン濃度の推移、分娩、助産および帝王切開、新生子の管理）	交配上の注意、遺伝学の概論、遺伝性疾患についても理解を深める
11	雄イヌの繁殖、イヌネコの繁殖の人的支配（人工授精、誘起発情、避妊）	イヌネコのブリーディング
12	雄ネコの繁殖、イヌネコの繁殖の人的支配（人工授精、誘起発情、避妊）	イヌネコのブリーディング
13	遺伝学の基礎と遺伝性疾患	繁殖を通じて遺伝学の基礎と遺伝性疾患を学ぶ。
14	遺伝学の基礎と遺伝性疾患	繁殖を通じて遺伝学の基礎と遺伝性疾患を学ぶ。
15	総まとめ	授業のまとめ
16	期末試験	今まで学んだ繁殖学のポイントを振り返り理解を深める

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	時間ごとに小テストを実施し、履修後の確認をおこなう。

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物病理学				
担当教員	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	疾病の成り立ちと回復の促進に寄与することを学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物病理学総論 病理解剖と病理組織学的検査の目的、意義について理解	テキスト パワーポイント資料
2	細胞や組織に生じる変化 変性と物質沈着／壊死とアポトーシス	テキスト パワーポイント資料
3	細胞や組織に生じる変化 細胞増殖のメカニズム、器質化、再生と化生	テキスト パワーポイント資料
4	細胞や組織に生じる変化 過形成と肥大／委縮、低形成	テキスト パワーポイント資料
5	循環障害 充血とうっ血／出血の原因	テキスト パワーポイント資料
6	循環障害 血栓の成因／虚血と梗塞	テキスト パワーポイント資料
7	循環障害 水腫、浮腫／ショックの原因と分類／DICの病態	テキスト パワーポイント資料
8	炎症 定義と五大徴候／分類と原因、特徴	テキスト パワーポイント資料
9	炎症 関与する細胞と化学伝達物質／経過と治癒	テキスト パワーポイント資料
10	腫瘍 定義と分類／原因と発生機序	テキスト パワーポイント資料
11	腫瘍 宿主の関係／転移と進行	テキスト パワーポイント資料
12	先天異常 遺伝子・染色体異常	テキスト パワーポイント資料
13	先天異常 発生異常と奇形	テキスト パワーポイント資料
14	組織標本の作製法	テキスト パワーポイント資料
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院9年

科目名	動物薬理学Ⅰ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用などを動物看護師が確認し、知識を有することは、カルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。さらに動物は、種による体重の違いも大きく、生理的代謝の特異性による投与禁忌などがあるので確認が必要となるので、薬物の取扱いと保存方法を習得し、正確な薬用量計算ができなければならない。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	薬理学総論を通して、薬には基本的性質があり効能と副作用の両方を有することを理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　基礎動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	総論　薬理学とは 薬と類する物の分類	医薬品と医薬部外品の違いについて
2	薬理学の基本と医薬品の定義について学ぶ	薬事法関連
3	薬物の剤形について 内服薬、注射薬、外用薬	看護実習の復習を兼ねる
4	薬物の剤形について 内服薬、注射薬、外用薬	看護実習の復習を兼ねる
5	薬物の投与方法について 静脈内投与	看護実習の復習を兼ねる
6	薬物の投与方法について 静脈内投与	看護実習の復習を兼ねる
7	薬物の投与方法について 経口投与、その他の投与方法	看護実習の復習を兼ねる
8	薬物の投与方法について 経口投与、その他の投与方法	看護実習の復習を兼ねる
9	薬物動態 体内の薬物の動き、効果発現までの流れについて	体内での薬剤の崩壊、胃からの排出、小腸からの吸収、食事の影響、分布にについて学ぶ
10	薬物動態 体内の薬物の動き、効果発現までの流れについて	体内での薬剤の崩壊、胃からの排出、小腸からの吸収、食事の影響、分布にについて学ぶ
11	薬物動態 体内に入った薬剤の代謝について	肝臓の働きを復習しながら代謝について知り、効果的な投薬について学ぶ
12	薬物動態 体内に入った薬剤の代謝について	肝臓の働きを復習しながら代謝について知り、効果的な投薬について学ぶ
13	効果に影響を与える因子について 頻度、年齢、性別	さまざまな要因により薬物の効果が変化したり、副作用がでることを知る。
14	効果に影響を与える因子について 頻度、年齢、性別	さまざまな要因により薬物の効果が変化したり、副作用がでることを知る。
15	前期期末試験	薬物動態の総まとめ
16	フィードバック、問題応用	試験後も繰り返し問題を解き、習得させる
17	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
18	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
19	おもな薬剤の特性 抗菌薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
20	おもな薬剤の特性 抗菌薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
21	おもな薬剤の特性 合成ステロイド	獣医療の場で使用される薬剤の各論
22	おもな薬剤の特性 合成ステロイド	獣医療の場で使用される薬剤の各論
23	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤	獣医療の場で使用される薬剤の各論
24	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤	獣医療の場で使用される薬剤の各論
25	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
26	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
27	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
28	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
29	おもな薬剤の特性 腫瘍疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
30	おもな薬剤の特性 腫瘍疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
31	薬用量の計算	動物は、年齢、体重、体格が様々である。薬物の投与量は動物ごとに決定する必要がある。
32	期末試験	動物薬理学の総まとめ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	解剖生理学やカタカナ用語が多く出てくることから、苦手意識を持つ学生が多い。しかしながら、現場での必要性は非常に高く、覚えておくことで効率的に現場医療に介入できるであろう。まずは、薬について興味を持つことが重要である。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物感染症学Ⅱ				
担当教員	東海林　愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	寄生虫の分類、生物学的特徴、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。				
学習目標（到達目標）	主にイヌネコに感染する内部寄生虫、外部寄生虫の感染経路、病害発生の機序、検査法、予防法を学び、飼主に寄生虫感染予防の大切さを伝えられるようにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	（株）EDUWARD Press発行　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	寄生虫とは	テキスト・模型の使用
2	内部寄生虫の分類	テキスト・模型の使用
3	外部寄生虫の分類	テキスト・模型の使用
4	原虫の分類、形態、生活環及び病原性	テキスト・模型の使用
5	原虫の分類、形態、生活環及び病原性	テキスト・模型の使用
6	蠕虫（吸虫、条虫、線虫）の分類、形態、生活環及び病原体	テキスト・模型の使用
7	蠕虫（吸虫、条虫、線虫）の分類、形態、生活環及び病原体	テキスト・模型の使用
8	蠕虫（吸虫、条虫、線虫）の分類、形態、生活環及び病原体	テキスト・模型の使用
9	衛生動物（ダニ、ノミなど）の分類、形態、生活環及び病原体	テキスト・模型の使用
10	衛生動物（ダニ、ノミなど）の分類、形態、生活環及び病原体	テキスト・模型の使用
11	衛生動物（ダニ、ノミなど）の分類、形態、生活環及び病原体	テキスト・模型の使用
12	寄生虫疾患の検査、診断法	テキスト・模型の使用
13	寄生虫疾患の検査、診断法	テキスト・模型の使用
14	駆虫薬や駆除剤の使用法	テキスト・模型の使用
15	駆虫薬や駆除剤の使用法	テキスト・模型の使用
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて、動物看護師として13年実務経験

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床看護学総論				
担当教員	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護師の基本的な考え方を修得する 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	動物看護師としての観察、記録、コミュニケーション、補助技術と共に獣医学の種々の知識を身に付けて、チーム獣医療の中で動物看護師の視点で看護を行うことができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物看護過程の概要と展開 動物看護過程とは何か（目的、意義、展開方法について）	パワーポイントを使用した授業展開
2	動物看護過程の概要と展開 アセスメントについて理解する	パワーポイントを使用した授業展開
3	動物看護過程の概要と展開 事例ごとの個別性、情報の整理と解釈について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
4	問題の明確化と動物看護計画の立案、動物看護過程の実施と評価について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
5	診療記録 診療録（カルテ）の作成方法について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
6	動物看護記録の目的や書式、事例に応じた作成法について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
7	動物看護業務 チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
8	ケアの標準化（クリティカルパス）について理解する 事故管理、防止システムについて理解す	パワーポイントを使用した授業展開
9	若齢動物看護の特徴について理解する 老齢動物看護の特徴や褥瘡について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
10	家庭での継続看護を視野に入れた退院計画・指導について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
11	ターミナルケアに関わる技術 ターミナルケアの目的と意義について理解する	パワーポイントを使用した授業展開
12	QOL やホスピス、緩和ケアについて理解する	パワーポイントを使用した授業展開
13	グリーフケア、死亡した動物への対応とエンゼルケアについて理解する	パワーポイントを使用した授業展開
14	ターミナルケアについて知る 概要と事例紹介	パワーポイントを使用した授業展開
15	動物看護記録 重要性と必要性、記録の一般的な注意、管理方法、開示	パワーポイントを使用した授業展開
16	期末試験	事例を基に看護過程を考える

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて9年間の実務経験あり

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床看護学各論Ⅰ				
担当教員	遠藤　純一		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を高め、疾病別の動物看護に活かすために必要な疾病について学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	器官別の疾患について、特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物の看護を実践できるよう知識を身に付ける。疾患によって、好発種や、好発年齢があるので、そのポイントを把握した上で各症状を理解し、動物への看護法を実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	徴候や疾患の理解と対処 代表的な徴候や病態、疾患について理解する	パワーポイント
2	徴候の評価と記録法について理解する	パワーポイント
3	痛みの評価について理解する	パワーポイント
4	徴候・疾患に基づいた援助について理解する	パワーポイント
5	全身徴候 食欲不振・廃絶、元気喪失、発熱、疼痛、削痩	パワーポイント
6	特異的徴候 運動不耐、咳、心雑音、不整脈（房室ブロック、期外収縮、心房・心室細動）、高血圧	パワーポイント
7	特異的徴候 努力性呼吸、流涎、嘔吐、吐出、下痢、便秘、血便、黄疸、頻尿、血尿、多飲多尿	パワーポイント
8	特異的徴候 跛行、掻痒、発作、視力障害、難聴、眼振、斜頸、貧血、出血傾向	パワーポイント
9	特異的病態 尿毒症、肝性脳症、褥瘡、播種性血管内凝固（DIC）	パワーポイント
10	感覚器系疾患 耳	パワーポイント
11	感覚器系疾患 耳	パワーポイント
12	感覚器系疾患 口腔	パワーポイント
13	感覚器系疾患 口腔	パワーポイント
14	感覚器系疾患 眼科	パワーポイント
15	感覚器系疾患 眼科	パワーポイント
16	期末試験	
17	振り返り	
18	循環器疾患 僧帽弁逆流症、心筋症、血栓塞栓症	パワーポイント
19	循環器疾患 僧帽弁逆流症、心筋症、血栓塞栓症	パワーポイント
20	循環器疾患 心膜腹膜横隔膜ヘルニア、心房中隔欠損、心室中隔欠損	パワーポイント
21	循環器疾患 心膜腹膜横隔膜ヘルニア、心房中隔欠損、心室中隔欠損	パワーポイント
22	循環器疾患 卵円孔開存、右大動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬糸状虫症	パワーポイント
23	循環器疾患 卵円孔開存、右大動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬糸状虫症	パワーポイント
24	呼吸器疾患 猫上部気道感染症、鼻炎、軟口蓋過長	パワーポイント
25	呼吸器疾患 猫上部気道感染症、鼻炎、軟口蓋過長	パワーポイント
26	呼吸器疾患 気管虚脱、短頭種気道症候群、気管支拡張症、気管支炎	パワーポイント
27	呼吸器疾患 気管虚脱、短頭種気道症候群、気管支拡張症、気管支炎	パワーポイント
28	呼吸器疾患 肺炎、肺水腫、猫喘息、膿胸、ジステンパー、ケンネルコフ	パワーポイント
29	呼吸器疾患 肺炎、肺水腫、猫喘息、膿胸、ジステンパー、ケンネルコフ	パワーポイント
30	総復習	パワーポイント
31	期末試験	パワーポイント
32	振り返り	パワーポイント

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として５年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物内科看護学Ⅱ				
担当教員	山下　静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	獣医療を受けるさいに必要な検査や補助業務の内容を理解し、知識を身につける。 人と犬にとって安全であり、犬が安心していられる接触のしかたを知る。犬の健全な管理と飼育を遂行する重要性を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	健康の保持・増進 身体検査・アセスメント項目（体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、股動脈圧、毛細血管再充満時間（CRT）、浅在リンパ節など）について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
2	健康の保持・増進 身体検査・アセスメント項目（体重、体温、脈拍、呼吸、意識レベル、粘膜色、股動脈圧、毛細血管再充満時間（CRT）、浅在リンパ節など）について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
3	検査・処置に必要な技術 採血の目的と方法について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
4	マイクロチップの挿入について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
5	主要な検査機器	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
6	心電図検査 心電図検査の目的と意義、心電図検査の実施方法について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
7	レントゲン検査、CT・MRI検査 Ｘ線検査の目的と意義について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
8	レントゲン検査、CT・MRI検査 Ｘ線検査の実施方法と撮影体位について理解する。CT 及び MRI の概要について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
9	超音波検査 超音波検査の目的と実施方法、保定体位について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
10	内視鏡検査 内視鏡検査の目的と意義、内視鏡検査の実施方法について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
11	神経学的検査 姿勢反応と脊髄反射について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
12	眼科検査 シルマー試験、フルオレセイン試験、眼圧測定、眼底検査の方法と意義について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
13	耳の検査 外耳道の検査方法と意義について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
14	皮膚科検査 皮膚掻爬試験、スタンプ検査、被毛検査、皮膚生検について理解する	動物看護実習テキスト パワーポイント資料
15	授業振り返り	動物看護師が関わる臨床検査の種類（検体検査、生体検査）にはどのようなものがあるのか、を知る。
16	期末試験	検体検査・生体検査に使用する主要な検査機器について知る

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	実習で実践できるように、座学で知識を身に付ける。

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として４年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物外科看護学Ⅱ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を習得する 動物の術前管理、手術室管理、滅菌消毒法、術前準備、麻酔法、手術器具、術中管理、術後管理、包帯法、救急救命法、理学療法 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	動物の臨床看護に必要な知識を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	外傷、創傷管理 創傷の種類と治癒過程と管理方法	医療ドラマの鑑賞
2	外傷、創傷管理 骨折・脱臼の管理について理解する	清潔と不潔とはを例を交えて
3	術前準備 術前手続（飼い主への説明、承諾書など）や術前検査について理解する	手術を安全に行うための書類の交わし方
4	術前準備 無菌的処置の重要性、手術衣、手術器具、タオル・ドレープ類の準備、滅菌法について理解する	衛生管理の徹底
5	術前準備 術前手続（飼い主への説明、承諾書など）や術前検査について理解する	他授業の内容に合わせる
6	術前準備 器械台の準備、ポジショニング、術野の消毒について理解する	精密機器のメンテナンスについて
7	術者に必要な準備 手洗いの技術	在庫管理を行う
8	麻酔 麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割、麻酔リスクの評価	動画を交えて習得
9	麻酔 麻酔前投与、注射麻酔、吸入麻酔の手技について	必要性への理解
10	麻酔看視項目（心電図、心拍数、呼吸数、体温、血圧、動脈血酸素飽和度、呼気終末二酸化炭素濃度など）の監視方法	２タイプを習得
11	術中補助 代表的な手術器具、縫合材、歯科器具の名称と使用法について	意識改善
12	術中補助 直接補助、間接補助の内容について	スケッチ
13	術後管理 動物のモニタリング、疼痛管理の意義と方法について	スケッチ
14	救急救命 一次救命措置、二次救命措置について	管理チェック表を用いる
15	動物理学療法 動物理学療法の目的と意義について	後期の実習に向けて総復習
16	期末試験	修得状況の確認

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	この科目で学んだことをしっかりと認識して実習に臨むこと。知識が不足している場合は怪我や破損につながる恐れがある。積極的に復習に取り組み、時間が経ったから忘れたということがないように取り組む。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物形態機能学実習				
担当教員	平石　理恵		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の身体の形態と機能を、骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶ 動物を生命体として細胞、組織、臓器レベルの各階層での知識は動物形態機能学で修得しながら、犬の体に触れたとき、今、自分が触れているところには何があるのかが立体的にわかるようになる 犬や猫の体を構成する骨、筋、内臓器の位置と相関関係が立体的に理解できる 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	修得した知識の実践力を身に付ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　基礎動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	体表面：体位と方向を示す用語	
2	標本による骨格形態と機能の理解（頭蓋、歯）	骨格標本を用いる
3	標本による骨格形態と機能の理解（脊柱）	骨格標本を用いる
4	標本による骨格形態と機能の理解（肋骨と胸骨）	骨格標本を用いる
5	標本による骨格形態と機能の理解（肩、腕、前腕部）	骨格標本を用いる
6	標本による骨格形態と機能の理解（骨盤を構成する骨）	骨格標本を用いる
7	標本による骨格形態と機能の理解（大腿と下腿を構成する骨）	骨格標本を用いる
8	主要な内臓器官の配置	
9	生殖器の雌雄差	
10	顕微鏡の取扱い 顕微鏡各部位の名称、鏡検条件（倍率など）について	
11	顕微鏡の取扱い 顕微鏡の適切な操作法・管理法について修得	
12	組織像の観察 主要臓器の組織像を顕微鏡で観察し、特徴について理解する	
13	組織像の観察 主要臓器の組織像を顕微鏡で観察し、特徴について理解する	
14	組織像の観察 組織像に見られる代表的な構造に関し、機能との関係について理解する	
15	期末試験	
16	フィードバック	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物形態機能学で学んだことをしっかりと認識して実習に臨むこと。知識が不足している場合は実習に参加できないことがある。積極的に実習に取り組み、全ての実習項目に出席する。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物内科看護学実習Ⅱ				
担当教員	山下　静香		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	犬や猫の日常的な健康管理や内科療法の補助に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する。 １年次で習得した技術を実践する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	獣医療を受けるさいに必要な検査や補助業務の内容を理解し、実践できる。 人と犬にとって安全であり、犬が安心していられる接触のしかたを知る。犬の健全な管理と飼育を遂行する重要性を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	身体検査 意識レベル、ＢＣＳ、粘膜色、体表リンパ節、体重測定	実習
2	身体検査 バイタルサインの評価	実習
3	身体検査 意識レベル、ＢＣＳ、粘膜色、体表リンパ節、体重測定	実習
4	身体検査 バイタルサインの評価	実習
5	身体検査 意識レベル、ＢＣＳ、粘膜色、体表リンパ節、体重測定	実習
6	身体検査 バイタルサインの評価	実習
7	診察補助 診察準備、衛生管理	実習
8	基本的な保定	実習
9	基本的な保定	実習
10	聴診器や体温計、注射器を適切に取り扱うことができる	実習
11	聴診器や体温計、注射器を適切に取り扱うことができる	実習
12	聴診器や体温計、注射器を適切に取り扱うことができる	実習
13	採血・採尿（尿カテーテルの挿入を含む）の手順を習得	実習
14	採血・採尿（尿カテーテルの挿入を含む）の手順を習得	実習
15	前期総復習	
16	期末試験	
17	薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順を習得	実習
18	薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順を習得	実習
19	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助	実習
20	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助	実習
21	輸液ポンプ、シリンジポンプ	実習
22	輸液ポンプ、シリンジポンプ	実習
23	輸液・輸血中の動物を管理	実習
24	マイクロチップに関わる技術	実習
25	マイクロチップに関わる技術	実習
26	心電図検査を実施し、結果を記録	実習
27	Ｘ線撮影のための基本的な保定、放射線防護	実習
28	超音波検査のための基本的な保定	実習
29	神経学的検査の所見を記録	実習
30	眼科検査、皮膚検査、外耳道検査	実習
31	総復習	
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として４年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床検査学実習Ⅱ				
担当教員	佐藤　緑		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	「動物臨床検査学実習Ⅰ」で習得した手技に応用力を付けて正確性、迅速性を身につける。検査の意義を理解し、手順書を見ないでも一人で責任を持った検査結果を出せるよう繰り返し実習し、また、検査結果の意味と関連性臓器について考察できるようにする。常に検査結果を準値と比べ、異常値の場合は速やかに獣医師に報告できるよう一連の流れを習得する。スタッフの安全と院内感染防止にも配慮し、検査後の看護動物の容態観察も習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	習得した基礎の実践とし、臨床検査の意義を理解し基本的手技を身につける。また看護実践ができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護の実践、　動物看護実習テキスト、パワーポイント資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	筋・骨格、各臓器の名称・位置・働きなどの解剖・生理学を理解し、スムーズな臨床検査が実施できる①	実習（場合によっては座学交え行う）
2	顕微鏡各部の名称を知り、適切な操作法を身につける①	実習（場合によっては座学交え行う）
3	血液検査①-1（意義・目的・採血部位・保定・駆血・CBC検査）	実習（場合によっては座学交え行う）
4	血液検査②-1（血液塗抹標本・生化学検査・輸血クロスマッチ・住血寄生虫の検査）	実習（場合によっては座学交え行う）
5	血液検査③-1（免疫学的検査・凝固系検査・小テスト）	実習（場合によっては座学交え行う）
6	尿検査①-1（意義・目的・機器備品の管理・採尿法物理学的性状検査検査項目・手技・科学的検査項目・手技）	実習（場合によっては座学交え行う）
7	尿検査②-1（顕微鏡学的検査項目・手技、正常値・異常値・小テスト）	実習（場合によっては座学交え行う）
8	糞便検査①-1（目的・意義・機器・備品管理採便法・物理学的性状検査項目・手技）	実習（場合によっては座学交え行う）
9	糞便検査②-1（顕微鏡学的検査項目・手技※直接法、浮遊法虫卵の判別・免疫学的検査・小テスト）	実習（場合によっては座学交え行う）
10	細胞診検査①-1（目的・意義・長所・欠点）	実習（場合によっては座学交え行う）
11	細胞診検査②-1（検体の採取法・検体の保存法・スメア法・小テスト）	実習（場合によっては座学交え行う）
12	骨髄検査①-1（目的・意義・異常・疾患・準備・手順）	実習（場合によっては座学交え行う）
13	骨髄検査②-1（塗抹標本の作製・鏡検・小テスト）	実習（場合によっては座学交え行う）
14	微生物学的検査 ①-1（目的・意義・滅菌・消毒・殺菌・感染・細菌真菌の種類・細菌培養）	実習（場合によっては座学交え行う）
15	微生物学的検査②-1（真菌培養・菌の同定・薬剤感受性試験・菌種と抗生物質・鏡検・小テスト）	実習（場合によっては座学交え行う）
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	検査ごとに小テストを実施し、履修の理解度を把握する。また実技試験を実施し、手技などの確認も行う

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物外科看護学実習Ⅱ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	看護動物が安全に麻酔（手術）を遂行するためには、術前の準備として看護動物の術前評価及び状態把握の目的・意義を理解することが重要である。また、麻酔（手術）が円滑に行われるためには日頃からの手術器具、機材の管理が必要となる。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	周術期の術前・術中・術後において、動物看護師の役割である外科手術の補助をするために必要な基礎知識を学び、外科看護技術を修得できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト（エデュワードプレス）、動物看護の実践６（ファームプレス）				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	麻酔記録 正常と異常を理解する	麻酔記録の書き方
2	麻酔覚醒 麻酔覚醒の生じるメカニズムを理解する	１年次の復習
3	術後管理 創傷の保護、包帯法	１年次の復習
4	術後管理 疼痛管理	ペインスケール
5	術後管理 術後の動物の安静・環境を考える	リスクマネージメント
6	術後管理 栄養管理	給与エネルギーの計算
7	術後管理 栄養チューブ	チューブ設置方法
8	去勢手術実習に向けてシュミレーション 術式の確認	去勢手術実習に向けて、個人のレベルアップとチーム力を高める
9	去勢手術実習に向けてシュミレーション 器具、器材の準備	去勢手術実習に向けて、個人のレベルアップとチーム力を高める
10	去勢手術実習に向けてシュミレーション 術中の動き、術後管理	去勢手術実習に向けて、個人のレベルアップとチーム力を高める
11	避妊手術実習に向けてシュミレーション 術式の確認	避妊手術実習に向けて、個人のレベルアップとチーム力を高める
12	避妊手術実習に向けてシュミレーション 器具、器材の準備	避妊手術実習に向けて、個人のレベルアップとチーム力を高める
13	避妊手術実習に向けてシュミレーション 術中の動き、術後管理	避妊手術実習に向けて、個人のレベルアップとチーム力を高める
14	実技試験	外科看護技術の修得
15	筆記試験	外科看護技術の修得
16	フィードバック	外科看護技術の修得
17	手術実習に向けて術前準備 器具機材の準備、術前検査	手術の周術期に関する業務を実践する
18	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	手術の周術期に関する業務を実践する
19	手術実習に向けて術後管理 覚醒、術創の保護	手術の周術期に関する業務を実践する
20	手術実習に向けて術前準備 器具機材の準備、術前検査	手術の周術期に関する業務を実践する
21	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	手術の周術期に関する業務を実践する
22	手術実習に向けて術後管理 覚醒、術創の保護	手術の周術期に関する業務を実践する
23	腫瘍または乳腺手術実習に向けて術前準備 器具機材の準備、術前検査	手術の周術期に関する業務を実践する
24	腫瘍または乳腺手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	手術の周術期に関する業務を実践する
25	腫瘍または乳腺手術実習に向けて術後管理 覚醒、術創の保護	手術の周術期に関する業務を実践する
26	骨折手術実習に向けて術前準備 器具機材の準備、術前検査	手術の周術期に関する業務を実践する
27	骨折手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	手術の周術期に関する業務を実践する
28	骨折手術実習に向けて術後管理 覚醒、術創の保護	手術の周術期に関する業務を実践する
29	救急救命	外科看護技術の修得
30	総復習、実技試験に向けて	外科看護技術の修得
31	実技試験	外科看護技術の修得
32	筆記試験	外科看護技術の修得

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	１年次に習得した外科実習を実践する。麻酔管理は命にかかわることとなるため、曖昧な知識のままでは参加が難しい。復習を行い、実践に備えること。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ペット関連産業概論				
担当教員	稲川　祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。				
学習目標（到達目標）	職業倫理の理解と、動物取扱責任者としての知識習得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	（株）EDUWARD Press発行　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ペット関連産業とは	テキスト
2	ペット関連産業にはどのような分野があるか	テキスト
3	ペットの飼養実態と市場規模	テキスト
4	ペット関連産業の現状と課題①	ディスカッション
5	ペット関連産業の現状と課題②	ディスカッション
6	ペット関連産業の現状と課題③	ディスカッション
7	ペット関連産業における職業倫理	テキスト
8	商取引における関連法規①	テキスト
9	商取引における関連法規②	テキスト
10	動物の愛護及び管理に関する法律に基づく事前説明の意義や必要性	テキスト
11	動物取扱業制度の概要	テキスト
12	動物取扱責任者としての実践的知識①	テキスト
13	動物取扱責任者としての実践的知識②	テキスト
14	動物取扱責任者として必要な動物の取扱方法や衛生管理に係る手法①	テキスト
15	動物取扱責任者として必要な動物の取扱方法や衛生管理に係る手法②	テキスト
16	期末評価	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として約5年の実務経験

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物看護総合実習Ⅱ				
担当教員	担任		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	修学した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされているのか動物病院で体験・実習する。動物病院の施設構造・機能を理解し看護が行われている場の環境を理解することで、獣医療現場での臨床経験から看護動物や飼い主への配慮を含むより実践的な看護と専門知識および倫理感を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	いままで修学した知識と技術、コミュニケーション能力を発揮し、先輩動物看護師に見習うことで、新人スタッフとしての心構えと社会人としての責任感を養い自身に不足している部分を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	発揮したい事項① 医療チームの一員として相応しい態度、学習者としての相応しい態度	
2	学びたい技術① 動物病院で必要な環境に関するアセスメント・整備技術	
3	学びたい技術② 動物病院で必要な食事に関するアセスメント・介助技術	
4	学びたい技術③ 排泄技術	
5	学びたい技術④ 動物病院で必要な活動・休息・援助に関するアセスメント・介助技術	
6	学びたい技術⑤ 動物病院で必要な身体の清潔に関するアセスメント・援助技術	
7	学びたい技術⑥ 動物病院で必要な身体の呼吸・循環に関するアセスメント・技術	
8	学びたい技術⑦ 動物病院で必要な創傷管理に関するアセスメント・技術	
9	学びたい技術⑧ 動物病院で必要な投薬に関するアセスメント・技術	
10	学びたい技術⑨ 動物病院で必要な生体機能管理に関するアセスメント・技術	
11	学びたい技術⑩ 動物病院で必要な感染予防に関するアセスメント・技術	
12	学びたい技術⑪ 動物病院で必要な安全管理に関するアセスメント・技術	
13	学びたい技術⑫ 動物病院で必要なコミュニケーションに関するアセスメント・技術	
14	学びたい技術⑬ 動物病院で必要な周術期の看護に関するアセスメント・技術	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物病院での臨床実習

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物栄養学Ⅱ				
担当教員	稲川　祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	栄養学的管理が疾患の治療と健康の維持に大きく関連する疾病について各論として学ぶ。獣医師によって予後診断された中で、動物看護師が栄養学的な管理に関わられる疾患について学び、課程での最適な管理を飼い主に指導できる知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	疾患別の管理については、市販の療法食を活用することが多いため、その療法食の特性を理解し、獣医師の指導のもとで使用することの確認と、必ず定期的な指導のもとで使用することを周知させる必要がある。動物看護師は、獣医師の診断内容と栄養学的な内容を理解し、その疾患に関連する解剖学や生理学の知識を復習して、栄養学および食事の指導をする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本からよくわかる犬と猫の栄養管理、その他資料配布				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	尿路結石／下部尿路疾患	テキスト、資料を使用
2	心臓病	テキスト、資料を使用
3	消化器病	テキスト、資料を使用
4	腎臓病	テキスト、資料を使用
5	肝臓病	テキスト、資料を使用
6	口腔疾患	テキスト、資料を使用
7	糖尿病	テキスト、資料を使用
8	食物アレルギー	テキスト、資料を使用
9	関節炎	テキスト、資料を使用
10	肥満	テキスト、資料を使用
11	がん	テキスト、資料を使用
12	脳の加齢と認知障害 甲状腺機能亢進症	テキスト、資料を使用
13	術後の栄養管理 強制給餌と経管・静脈栄養法	テキスト、資料を使用
14	ペットフード市場 関係法規	テキスト、資料を使用
15	栄養指導	テキスト、資料を使用
16	まとめ	小テスト実施

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。

実務経験教員の経歴	動物病院5年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物愛護・適正飼養実習Ⅱ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	1、動物種ごとの適切な食事や環境を提供できるようになる 2、犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3、猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を実践できるようになる 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	正常な動物を知り、動物種ごとに適した飼育管理を実践できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
2	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
3	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
4	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
6	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
7	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
8	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
9	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
11	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
12	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
13	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
14	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
15	期末試験	筆記と実技の試験
16	ハムスターの飼育管理の実習・フィードバック	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
17	大動物の飼育管理の実習	動物ふれあいセンターでの実習
18	小動物の飼育管理の実習	動物ふれあいセンターでの実習
19	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
20	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
21	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
22	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
23	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
24	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
25	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
26	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
27	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
28	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
29	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
30	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
31	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。

実務経験教員の経歴	動物看護師として9年、動物病院に勤務していた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	比較動物学				
担当教員	秋元　彩子、佐藤　緑、平石　理恵	実務授業の有無	○		
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	飼養動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼養管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。				
学習目標（到達目標）	産業動物、実験動物、野生動物、展示動物について理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	（株）EDUWARD Press発行　愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書６巻				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	家畜（産業動物）とは何か	テキスト パワーポイント資料
2	家畜の種類と特徴 馬	テキスト パワーポイント資料
3	家畜の種類と特徴 牛	テキスト パワーポイント資料
4	家畜の種類と特徴 綿羊・山羊	テキスト パワーポイント資料
5	家畜の種類と特徴 豚	テキスト パワーポイント資料
6	家畜の種類と特徴 鶏	テキスト パワーポイント資料
7	主要家畜の飼養管理法 反芻動物（牛、羊、山羊）	テキスト パワーポイント資料
8	主要家畜の飼養管理法 馬	テキスト パワーポイント資料
9	主要家畜の飼養管理法 豚	テキスト パワーポイント資料
10	主要家畜の飼養管理法 鶏	テキスト パワーポイント資料
11	各家畜の性周期と繁殖生理を理解	テキスト パワーポイント資料
12	各家畜の性周期と繁殖生理を理解	テキスト パワーポイント資料
13	各家畜の飼育施設の概要について理解	テキスト パワーポイント資料
14	各家畜の飼育施設の概要について理解	テキスト パワーポイント資料
15	各家畜の飼養法について理解	テキスト パワーポイント資料
16	期末試験	
17	動物実験の目的、意義について理解する	テキスト パワーポイント資料
18	動物種、品種、系統の概念を理解する	テキスト パワーポイント資料
19	代表的な実験動物の飼育管理・繁殖法を理解する	テキスト パワーポイント資料
20	代表的な実験動物の飼育管理・繁殖法を理解する	テキスト パワーポイント資料
21	実験動物の健康と福祉／保定の仕方／個体の管理	テキスト パワーポイント資料
22	実験動物の制御と疾患モデル動物	テキスト パワーポイント資料
23	野生動物学の基礎 生物多様性の概念を理解	テキスト パワーポイント資料
24	野生動物学の基礎 野生動物の保全の意義を理解、鳥獣害の現状を理解	テキスト パワーポイント資料
25	野生動物の分類と生物多様性	テキスト パワーポイント資料
26	絶滅危惧種の保全 レッドリストを理解	テキスト パワーポイント資料
27	絶滅危惧種の保全 絶滅危惧となる原因を理解	テキスト パワーポイント資料
28	外来種の定義および含まれる動物を理解	テキスト パワーポイント資料
29	動物園の個体群管理について理解	テキスト パワーポイント資料
30	展示動物の意義と動物園の役割について理解	テキスト パワーポイント資料
31	動物園の個体群管理について理解	テキスト パワーポイント資料
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	ペット栄養管理士対策				
担当教員	稲川　祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	88
授業概要、目的、授業の進め方	基礎栄養学をより深く掘り下げ、６大栄養素と消化生理について、生化学を学ぶ。疾病の病態生理や要求栄養素の違いを理解し、特別療法食による食事指導ができるペット栄養管理士を目指す。また、法律、ペットフードの原料や添加物について理解し、ペットフードの輸入・製造・販売業者に必要な知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	ペット栄養管理士資格の合格を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ペット栄養管理士認定試験想定問題集（第5集）				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ペットフードの添加物 ペットフードの各種動物試験法	問題集。資料の使用
2	ペットフードに使用される主な原料 ペットフードの種類と加	問題集。資料の使用
3	ペットフード市場 ペットフードに関わる諸法令とペットフードの表示	問題集。資料の使用
4	イヌとネコの食性・採食パターン・嗜好・採食量および飲水量	問題集。資料の使用
5	イヌのライフステージと栄養	問題集。資料の使用
6	エネルギー	問題集。資料の使用
7	小テスト	問題集。資料の使用
8	栄養素の消化と吸収	問題集。資料の使用
9	三大栄養素とその役割	問題集。資料の使用
10	ビタミン	問題集。資料の使用
11	ミネラル代謝	問題集。資料の使用
12	イヌ・ネコの肥満 ウサギの食事と病気	問題集。資料の使用
13	小テスト	問題集。資料の使用
14	消化器疾患と栄養	問題集。資料の使用
15	尿石症の食事療法 慢性腎不全の食事療法	問題集。資料の使用
16	肝臓疾患の食事療法	問題集。資料の使用
17	歯科疾患と食事 術後の栄養管理	問題集。資料の使用
18	がん患者の食事療法 糖尿病の食事療法	問題集。資料の使用
19	慢性心不全の食事療法 共通感染症	問題集。資料の使用
20	アレルギーの食事療法 異常行動と栄養管理	問題集。資料の使用
21	小テスト	問題集。資料の使用
22	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
23	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
24	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
25	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
26	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
27	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
28	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
29	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
30	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
31	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
32	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
33	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
34	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
35	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
36	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
37	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
38	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
39	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
40	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
41	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
42	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
43	弱点分野集中講座	問題集。資料の使用
44	模擬試験	問題集。資料の使用

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満）とする。	章ごとに小テストを実施し、理解度を確認する。 弱点克服では、各自の苦手分野を重点的に解答を進める。

実務経験教員の経歴	動物病院にて、動物看護師として約5年の実務経験

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅱ				
担当教員	担任		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ　就活ナビ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	インターンシップの振り返り	
2	インターンシップの振り返り 発表	
3	就職活動の流れ、必要書類作成について	・就職活動の基準、提出書類の種類、流れを知る ・履歴書の学歴や検定欄の更新
4	求人検索の方法、求人票の見方	・求人検索サイトを知る ・求人票を見ながら項目ごとの意味を知る
5	合同企業ガイダンス・会社訪問の心構え、準備	・合同企業ガイダンスへの参加に向けた準備 ・企業研究をどのように行うか知る
6	面接のマナー、面接の形式	動画5-2～3
7	面接のマナー、面接の形式	動画5-2～3
8	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」	動画4-1～2
9	コミュニケーションは「きく」から始まる、「話す」は「全身表現」	動画4-1～2
10	日本語の発声法、緊張は友達、リズミカルに話す	動画4-3～5
11	日本語の発声法、緊張は友達、リズミカルに話す	動画4-3～5
12	ディスカッションの基礎、筆記試験対策	動画5-4～5
13	ディスカッションの基礎、筆記試験対策	動画5-4～5
14	実習日誌の作成 これまでの振り返り	
15	実習日誌の作成	
16	内定お礼状の書き方	プリント

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	個別面談を行うこともあるので、毎回授業に出席すること。就職関係の提出物などの遅れがないようにすること。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コミュニケーション実践Ⅱ				
担当教員	担任		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年の就職活動を意識する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	就職活動の心構えと流れを知ることができる。 自分と職業を理解することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方	プリント
2	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方	プリント
3	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント
4	社会人になってからのマナー（日常のマナー）	プリント
5	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）	プリント
6	社会人になってからのマナー（身だしなみ、敬語）	プリント
7	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）	プリント
8	社会人になってからのマナー（備品の名称、使い方）	プリント
9	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）	プリント
10	社会人になってからのマナー（メール、ビジネス文書）	プリント
11	社会人になってからのマナー（接待）	プリント
12	社会人になってからのマナー（接待）	プリント
13	社会人になってからのマナー（慶弔業務）	プリント
14	社会人になってからのマナー（慶弔業務）	プリント
15	社会人になってからのマナー（退職）	プリント
16	2年間の振り返り	課題

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	コンピュータ実習Ⅱ				
担当教員	古俣　秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	Excel表計算処理技能認定試験　３級　取得することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Excel2016 クイックマスター 基本編				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本　Chapter2 データの編集	画面構成、用語の確認 範囲選択　文字の入力、数値の入力
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)～(3)	日付の入力、オートフィル、数式、合計関数、相対参照・絶対参照、コピー・移動
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)～(3)	セルの書式設定、表示形式
4	Chapter7 関数	基本関数の意味と使い方（平均、最大、最少、データの個数、順位）
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)～(6)、【問題3】	並べ替え、フィルター
6	●問題集 練習問題2【問題2】(4)～(6)、【問題3】 Chapter5 グラフと図形の作成　Chapter6 ブックの利用と管理	グラフ作成・編集、ワークシート名の変更、シートコピー
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成	ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパークライン
8	●練習問題２～3	解説誘導しながら 答案解答作成
9	●練習問題4～5	各人のペースで解答 巡回してチェック・ポイント解説
10	●練習問題6～7	〃
11	●練習問題8～9	〃
12	●練習問題10、模擬問題2	〃
13	●模擬問題3～4	〃
14	●模擬問題5～6	〃
15	●試験実施プログラム 模擬問題1	前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点
16	検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、表計算やデータを利用した簡単な資料作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。

実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	トリミング理論				
担当教員	矢澤　千恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	各犬種ごとのペットカットのトリミングスタイルを学ぶ。 ペットカットには、決まりがないため、まずはスタンダードを理解する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	各犬種ごとのトリミングスタイルを理解し、グルーミング実習にて実践が出来ようようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー　ドッグ・グルーマーズ　プロフェッショナル・ワークブック				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	トリミングの目的、ペットカットとショークリップの違い	
2	トリミング方法と道具について、トリマーの心得	
3	アウトラインカットについて	
4	ポメラニアンの柴カット	
5	プードルのラムクリップ、ベアカットについて	
6	マルチーズのペットカット①	
7	接客対応	
8	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ショップトリマー4年、独立サロン4年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実習Ⅰ				
担当教員	梅本 実生		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	120分の中で、シャンプー、ベイジング、ドライング、爪切り、耳掃除、足裏の毛のカット、足回りが1人で出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミング実習（実践）チワワ	犬種ごとのグルーミング技術を学ぶ
2	グルーミング実習（実践）ダックス	
3	グルーミング実習（実践）ポメラニアン	ダブルコートのブラッシングを身に付ける。
4	グルーミング実習（実践）パピヨン	
5	グルーミング実習（実践）ヨークシャーテリア	
6	グルーミング実習（実践）シュナウザー	
7	グルーミング実習（実践）プードル	ブロードライングの技術を身に付ける。
8	グルーミング実習（実践）マルチーズ	
9	グルーミング実習（実践）ピンシャー	
10	グルーミング実習（実践）大型犬	
11	グルーミング実習（実践）パグ	
12	グルーミング実習（実践）シーズー	
13	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	シザーやクリッパーを使用し部分カットを行う。
14	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
15	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
16	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
17	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
18	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
19	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
20	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
21	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
22	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
23	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
24	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
25	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
26	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
27	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
28	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト①	
29	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト②	
30	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト③	
31	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト④	
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ショップトリマー4年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物形態機能学Ⅱ				
担当教員	平石　理恵		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	リハビリテーションに必要な体の形態機能を学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	リハビリテーションに必要な骨格、臓器などの形態と機能を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	1年次の形態機能学の振り返り	パワーポイント
2	1年次の形態機能学の振り返り	パワーポイント
3	循環器系の器官	パワーポイント
4	呼吸器系の器官	パワーポイント
5	泌尿器系の器官	パワーポイント
6	消化器系の器官	パワーポイント
7	骨格	パワーポイント
8	骨格	パワーポイント
9	骨格	パワーポイント
10	神経系の器官	パワーポイント
11	神経系の器官	パワーポイント
12	運動器系の器官	パワーポイント
13	運動器系の器官	パワーポイント
14	総復習	パワーポイント
15	期末試験	
16	振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	野生動物学				
担当教員	平石　理恵		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	様々な動物の特性と人との関わりを理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　応用動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	野生動物学の基礎 生物多様性の概念を理解	テキスト パワーポイント資料
2	野生動物学の基礎 野生動物の保全の意義を理解	テキスト パワーポイント資料
3	野生動物学の基礎 野生動物による鳥獣害の現状を理解	テキスト パワーポイント資料
4	野生動物の分類と生物多様性	テキスト パワーポイント資料
5	野生動物の分類と生物多様性	テキスト パワーポイント資料
6	絶滅危惧種の保全 レッドリストを理解	テキスト パワーポイント資料
7	絶滅危惧種の保全 絶滅危惧となる原因を理解	テキスト パワーポイント資料
8	展示動物の意義と動物園の役割について理解	テキスト パワーポイント資料
9	動物園の個体群管理について理解	テキスト パワーポイント資料
10	動物園の行動管理について理解	テキスト パワーポイント資料
11	動物園の施設管理について理解	テキスト パワーポイント資料
12	外来種の定義および含まれる動物を理解	テキスト パワーポイント資料
13	外来生物が在来生態系に及ぼす影響を理解	テキスト パワーポイント資料
14	外来生物への対策について理解	テキスト パワーポイント資料
15	期末試験	
16	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物飼育実習Ⅲ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	1、個体別ごとに適切な食事や環境を提供できるようになる 2、個体別に合わせたの犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3、個体別に合わせた猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を学び、行えるようになる 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	正常な動物を知り、個体ごとに適した飼育管理が実践できるようになる（その動物一頭一頭に合わせた飼育管理が実践できるようになる）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
2	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
3	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
4	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
6	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
7	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
8	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
9	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
11	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
12	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
13	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
14	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
15	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
16	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
17	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
18	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
19	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
20	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
21	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
22	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
23	期末試験	筆記と実技の試験
24	振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物種ごとだけではなく個別性をを持ち、動物一頭一頭に合わせた飼育管理を実践できるよう働きかける。より高度な知識・技術の習得を目指し、動物の正常と異常を判断できるようになる働きかける。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	就職実務Ⅲ				
担当教員	担任		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかり理解した上で就職活動を進めていく。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	企業研究の方法を知ることができる。 企業訪問や就職試験について知ることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動画で学ぶ　就活ナビ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
2	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
3	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
4	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
6	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
7	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
8	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
9	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
11	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
12	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
13	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
14	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
15	期末試験	筆記と実技の試験
16	ハムスターの飼育管理の実習・フィードバック	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
17	大動物の飼育管理の実習	動物ふれあいセンターでの実習
18	小動物の飼育管理の実習	動物ふれあいセンターでの実習
19	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
20	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
21	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
22	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
23	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
24	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
25	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
26	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
27	モルモットの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
28	ハムスターの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
29	犬の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
30	猫の飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
31	ウサギの飼育管理の実習	実習（学校飼育動物を実際にお世話する）
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	1年生で学んだことを使用し環境を整えるだけなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	造形美術				
担当教員	松永　せい子		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ドッグマネキンをカットすることで、実際のトリミングのイメージをつかむ。また、道具の扱い方の練習を行う。 立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力、想像力、形体を構成する力を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	トリミングに必要な技術と観察力を身に付け、個体それぞれのトリミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ペットライフ社　トリマーのためのベーシックハンドブック				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ラムクリップについて	トリミングの基本要素が集約されたもの。
2	面と角について、シザーについて	面と角を理解する。シザーの正しい持ち方、動かし方を修得する。
3	シザー動かし方練習 後肢フットライン	カットの時は、常に全体のバランスをしっかりみて行う。
4	前肢フットライン	
5	お尻周辺のカット	
6	お尻～アンギュレーション～飛節～飛節下のカット①	
7	後肢のカット、角取り	
8	お尻サイド、タックアップの位置決め	
9	ボディーサイドカット、アンダーカット、角取り	
10	前肢カット、角取り	
11	フロント①	
12	背線カット	
13	顔のカット①	
14	全体のバランスを見て仕上げ①	
15	全体のバランスを見て仕上げ②	
16	完成品　評価	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。	

実務経験教員の経歴	独立サロン経営

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物臨床看護学実習				
担当教員	秋元　彩子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	修得した知識の実践力を身に付ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する	
2	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物の生活環境が健康に及ぼす影響に着目	
3	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 症状や入院・治療が動物と家族に及ぼす影響に着目	
4	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 看護動物への関わり内容・方法を立案	
5	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物の看護上の問題・ニーズに着目	
6	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護計画の作成	
7	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
8	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
9	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
10	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
11	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
12	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
13	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
14	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
15	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
16	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成	
17	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	
18	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	
19	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	
20	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	
21	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	
22	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	
23	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	
24	事例を通して動物看護アプローチの個別性について理解する 動物看護記録の作成、入院動物の管理、ペインスケール	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院9年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	国試対策				
担当教員	遠藤　純一	実務授業の有無	○		
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	12	時間数	192
授業概要、目的、授業の進め方	1年、2年で履修した内容の復習。 過去問題集の実施による試験傾向の把握。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	愛玩動物看護師試験に合格することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　問題集 総重塔　問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	解剖学・生理学	2年間で履修した内容の復習
2	病理学	2年間で履修した内容の復習
3	薬理学	2年間で履修した内容の復習
4	動物遺伝学	2年間で履修した内容の復習
5	動物行動学	2年間で履修した内容の復習
6	放射線学	2年間で履修した内容の復習
7	免疫学	2年間で履修した内容の復習
8	微生物学	2年間で履修した内容の復習
9	寄生虫病学	2年間で履修した内容の復習
10	公衆衛生学	2年間で履修した内容の復習
11	毒性学	2年間で履修した内容の復習
12	野生動物学	2年間で履修した内容の復習
13	動物看護の基本概念・臨床倫理	2年間で履修した内容の復習
14	動物福祉・関係法規	2年間で履修した内容の復習
15	動物看護の展開	2年間で履修した内容の復習
16	共通の基本看護技術	2年間で履修した内容の復習
17	診療に伴う動物看護技術	2年間で履修した内容の復習
18	受付業務	2年間で履修した内容の復習
19	外来診療看護業務	2年間で履修した内容の復習
20	入院診療看護業務	2年間で履修した内容の復習
21	用術補看護関連業務	2年間で履修した内容の復習
22	環境整備看護業務	2年間で履修した内容の復習
23	動物栄養学	2年間で履修した内容の復習
24	救命救急時の動物看	2年間で履修した内容の復習
25	飼来動物患者の看護	2年間で履修した内容の復習
26	予防動物看護	2年間で履修した内容の復習
27	対象動物別の看護	2年間で履修した内容の復習
28	ベビー（子犬子猫）の看護	2年間で履修した内容の復習
29	シニア（老犬老猫）の看護	2年間で履修した内容の復習
30	内科系疾患	2年間で履修した内容の復習
31	心・脈管疾患	2年間で履修した内容の復習
32	内分泌・栄養・代謝病	2年間で履修した内容の復習
33	泌尿器疾患	2年間で履修した内容の復習
34	アレルギー・免疫疾患	2年間で履修した内容の復習
35	呼吸器疾患	2年間で履修した内容の復習
36	脳・神経疾患	2年間で履修した内容の復習
37	運動器（筋骨格系）疾患	2年間で履修した内容の復習
38	鼻・口腔疾患	2年間で履修した内容の復習
39	皮膚疾患	2年間で履修した内容の復習
40	生殖器疾患	2年間で履修した内容の復習
41	眼科疾患	2年間で履修した内容の復習
42	耳鼻咽頭疾患	2年間で履修した内容の復習
43	過去問題集実施	問題集
44	過去問題集実施	問題集
45	過去問題集実施	問題集
46	過去問題集実施	問題集
47	過去問題集実施	問題集
48	過去問題集実施	問題集
49	過去問題集実施	問題集
50	過去問題集実施	問題集
51	過去問題集実施	問題集
52	過去問題集実施	問題集
53	過去問題集実施	問題集
54	過去問題集実施	問題集
55	過去問題集実施	問題集
56	過去問題集実施	問題集
57	過去問題集実施	問題集
58	過去問題集実施	問題集
59	過去問題集実施	問題集
60	過去問題集実施	問題集
61	過去問題集実施	問題集
62	過去問題集実施	問題集
63	過去問題集実施	問題集
64	過去問題集実施	問題集
65	過去問題集実施	問題集
66	過去問題集実施	問題集
67	過去問題集実施	問題集
68	過去問題集実施	問題集
69	過去問題集実施	問題集
70	過去問題集実施	問題集
71	過去問題集実施	問題集
72	過去問題集実施	問題集
73	過去問題集実施	問題集
74	過去問題集実施	問題集
75	過去問題集実施	問題集
76	過去問題集実施	問題集
77	過去問題集実施	問題集
78	過去問題集実施	問題集
79	過去問題集実施	問題集
80	過去問題集実施	問題集
81	過去問題集実施	問題集
82	過去問題集実施	問題集
83	過去問題集実施	問題集
84	過去問題集実施	問題集
85	過去問題集実施	問題集
86	過去問題集実施	問題集
87	過去問題集実施	問題集
88	過去問題集実施	問題集
89	過去問題集実施	問題集
90	過去問題集実施	問題集
91	過去問題集実施	問題集
92	過去問題集実施	問題集
93	過去問題集実施	問題集
94	過去問題集実施	問題集
95	過去問題集実施	問題集
96	総末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として5年の実務経験

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	実験動物学				
担当教員	佐藤　緑		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、動物実験との関わりについて学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	様々な動物の特性と人との関わりを理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　応用動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	動物実験の目的、意義について理解する	テキスト パワーポイント資料
2	動物種、品種、系統の概念を理解する	テキスト パワーポイント資料
3	代表的な実験動物の飼育管理・繁殖法を理解する	テキスト パワーポイント資料
4	代表的な実験動物の飼育管理・繁殖法を理解する	テキスト パワーポイント資料
5	実験動物の健康と福祉／保定の仕方／個体の管理	テキスト パワーポイント資料
6	実験動物の制御と疾患モデル動物	テキスト パワーポイント資料
7	期末試験	
8	期末試験の振り返り	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物看護師として6年弱、動物病院に勤務していた

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ				
担当教員	遠藤　純一		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	チーム獣医療の場で必要な病名や診断名について学習する。また、治療方針の理解度を高め、疾病別の動物看護に活かすために必要な疾病について学ぶ 対面授業で実施				
学習目標（到達目標）	器官別の疾患について、特有の検査や動物看護に必要な知識を学び、動物の看護を実践できるよう知識を身に付ける。疾患によって、好発種や、好発年齢があるので、そのポイントを把握した上で各症状を理解し、動物への看護法を実践できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	授業説明	パワーポイント
2	消化器系疾患	パワーポイント
3	消化器系疾患	パワーポイント
4	消化器系疾患	パワーポイント
5	泌尿器系疾患	パワーポイント
6	泌尿器系疾患	パワーポイント
7	泌尿器系疾患	パワーポイント
8	内分泌系の疾患	パワーポイント
9	内分泌系の疾患	パワーポイント
10	内分泌系の疾患	パワーポイント
11	生殖器系疾患	パワーポイント
12	生殖器系疾患	パワーポイント
13	生殖器系疾患	パワーポイント
14	整形外科疾患	パワーポイント
15	整形外科疾患	パワーポイント
16	期末試験	パワーポイント
17	皮膚疾患	パワーポイント
18	皮膚疾患	パワーポイント
19	皮膚疾患	パワーポイント
20	神経疾患	パワーポイント
21	神経疾患	パワーポイント
22	神経疾患	パワーポイント
23	造血器・免疫介在性疾患	パワーポイント
24	造血器・免疫介在性疾患	パワーポイント
25	造血器・免疫介在性疾患	パワーポイント
26	緊急疾患	パワーポイント
27	緊急疾患	パワーポイント
28	担がん動物の看護	パワーポイント
29	担がん動物の看護	パワーポイント
30	総復習	パワーポイント
31	総復習	パワーポイント
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として５年勤務

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物看護総合実習Ⅲ				
担当教員	担任		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	修学した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされているのか動物病院で体験・実習する。動物病院の施設構造・機能を理解し看護が行われている場の環境を理解することで、獣医療現場での臨床経験から看護動物や飼い主への配慮を含むより実践的な看護と専門知識および倫理感を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	いままで修学した知識と技術、コミュニケーション能力を発揮し、先輩動物看護師に見習うことで、新人スタッフとしての心構えと社会人としての責任感を養い自身に不足している部分を理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	発揮したい事項① 医療チームの一員として相応しい態度、学習者としての相応しい態度	
2	学びたい技術① 動物病院で必要な環境に関するアセスメント・整備技術	
3	学びたい技術② 動物病院で必要な食事に関するアセスメント・介助技術	
4	学びたい技術③ 排泄技術	
5	学びたい技術④ 動物病院で必要な活動・休息・援助に関するアセスメント・介助技術	
6	学びたい技術⑤ 動物病院で必要な身体の清潔に関するアセスメント・援助技術	
7	学びたい技術⑥ 動物病院で必要な身体の呼吸・循環に関するアセスメント・技術	
8	学びたい技術⑦ 動物病院で必要な創傷管理に関するアセスメント・技術	
9	学びたい技術⑧ 動物病院で必要な投薬に関するアセスメント・技術	
10	学びたい技術⑨ 動物病院で必要な生体機能管理に関するアセスメント・技術	
11	学びたい技術⑩ 動物病院で必要な感染予防に関するアセスメント・技術	
12	学びたい技術⑪ 動物病院で必要な安全管理に関するアセスメント・技術	
13	学びたい技術⑫ 動物病院で必要なコミュニケーションに関するアセスメント・技術	
14	学びたい技術⑬ 動物病院で必要な周術期の看護に関するアセスメント・技術	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	動物病院での臨床実習

実務経験教員の経歴	

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物医療コミュニケーション				
担当教員	遠藤　純一		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。				
学習目標（到達目標）	クライアントエデュケーション、院内コミュニケーション、院内業務を理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント資料				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	クライアントエデュケーション概論 クライアントエデュケーションの目的、クライアントサービス	
2	飼い主が行う健康管理 家庭で行われている健康管理とは	
3	クライアントエデュケーションの実践に向けて 情報のアセスメントとニーズ	
4	クライアントエデュケーション実践 狂犬病予防接種	
5	クライアントエデュケーション実践 混合ワクチン接種（犬）	
6	クライアントエデュケーション実践 混合ワクチン接種（猫）	
7	クライアントエデュケーション実践 フィラリア予防	
8	クライアントエデュケーション実践 ノミ・ダニ予防	
9	クライアントエデュケーション実践 避妊・去勢	
10	クライアントエデュケーション実践 デンタルケア	
11	クライアントエデュケーション実践 減量指導	
12	接遇とホスピタリティ	
13	社会人コミュニケーション能力 受付、診察室でのコミュニケーション	
14	飼い主の心情からクライアントエデュケーションを考える グリーフケア	
15	クライアントエデュケーションまとめ 院内スタッフ教育指導	
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師として約5年の実務経験

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	グルーミング実習Ⅱ				
担当教員	梅本　実生		実務授業の有無	×	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	9	時間数	256
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人1頭の犬をグルーミングを行う。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	120分の中で、シャンプー、ペイジング、ドライング、爪切り、耳掃除、足裏の毛のカット、足回りが1人で出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	グルーミング実習（実践）チワワ	犬種ごとのグルーミング技術を学ぶ
2	グルーミング実習（実践）ダックス	
3	グルーミング実習（実践）ポメラニアン	ダブルコートのブラッシングを身に付ける。
4	グルーミング実習（実践）パピヨン	
5	グルーミング実習（実践）ヨークシャーテリア	
6	グルーミング実習（実践）シュナウザー	
7	グルーミング実習（実践）プードル	ブロードライングの技術を身に付ける。
8	グルーミング実習（実践）マルチーズ	
9	グルーミング実習（実践）ピンシャー	
10	グルーミング実習（実践）大型犬	
11	グルーミング実習（実践）パグ	
12	グルーミング実習（実践）シーズー	
13	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	シザーやクリッパーを使用し部分カットを行う。
14	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
15	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
16	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
17	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
18	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
19	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
20	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
21	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
22	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
23	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
24	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
25	グルーミング実習（実践）プードル　部分カット	
26	グルーミング実習（実践）マルチーズ　部分カット	
27	グルーミング実習（実践）シュナウザー　部分カット	
28	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト①	
29	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト②	
30	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト③	
31	グルーミング実習（実践）期末試験に向けた模擬テスト④	
32	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	

実務経験教員の経歴	ショップトリマー歴4年

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物薬理学Ⅱ				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	薬は獣医師の処方により調剤するが、その薬理作用および副作用などを動物看護師が確認し、知識を有することは、カルテに記載された内容を正しく理解し、作用と症状の変化を予測する上で重要である。さらに動物は、種による体重の違いも大きく、生理的代謝の特異性による投与禁忌などがあるので確認が必要となるので、薬物の取扱いと保存方法を習得し、正確な薬用量計算ができなければならない。 対面授業で実施。				
学習目標（到達目標）	薬理学総論を通して、薬には基本的性質があり効能と副作用の両方を有することを理解できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス　　基礎動物看護学				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	総論　薬理学とは 薬と類する物の分類	医薬品と医薬部外品の違いについて
2	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
3	おもな薬剤の特性 自律神経作用薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
4	おもな薬剤の特性 抗菌薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
5	おもな薬剤の特性 抗菌薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
6	おもな薬剤の特性 合成ステロイド	獣医療の場で使用される薬剤の各論
7	おもな薬剤の特性 合成ステロイド	獣医療の場で使用される薬剤の各論
8	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤	獣医療の場で使用される薬剤の各論
9	おもな薬剤の特性 非ステロイド抗炎症剤	獣医療の場で使用される薬剤の各論
10	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
11	おもな薬剤の特性 循環器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
12	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
13	おもな薬剤の特性 消化器疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
14	おもな薬剤の特性 腫瘍疾患に対する薬	獣医療の場で使用される薬剤の各論
15	薬用量の計算	動物は、年齢、体重、体格が様々である。薬物の投与量は動物ごとに決定する必要がある。
16	期末試験	動物薬理学の総まとめ

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	解剖生理学やカタカナ用語が多く出てくることから、苦手意識を持つ学生が多い。しかしながら、現場での必要性は非常に高く、覚えておくことで効率的に現場医療に介入できるであろう。まずは、薬について興味を持つことが重要である。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた

２０２３年度　　国際ペットワールド専門学校　シラバス

科目名	動物病院実務				
担当教員	佐山　恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	動物看護師・美容学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物内科看護学実習、動物臨床検査学実習、動物外科看護学実習で履修した内容を復習し技術力を身に付ける				
学習目標（到達目標）	動物内科看護学実習、動物臨床検査学実習、動物外科看護学実習の内容の取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	身体検査 バイタルサインの評価	
2	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	
3	血液検査	
4	身体検査 バイタルサインの評価	
5	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	
6	便検査	
7	身体検査 バイタルサインの評価	
8	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	
9	尿検査	
10	身体検査 バイタルサインの評価	
11	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	
12	皮膚検査	
13	身体検査 バイタルサインの評価	
14	手術実習に向けて周術期管理 消毒、器具出し、モニター管理	
15	総復習	
16	期末試験	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	１年次に習得した外科実習を実践する。麻酔管理は命にかかわることとなるため、曖昧な知識のままでは参加が難しい。復習を行い、実践に備えること。

実務経験教員の経歴	動物看護師として動物病院現場において９年間係わっていた